

令和6年度(令和5年度実績事業)

下田市教育委員会自己点検・評価報告書

令和6年12月

下田市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会点検・評価の概要	
1 点検・評価の趣旨	2
2 教育委員会会議の開催状況	3
3 教育委員会会議の審議状況	3～5
4 教育委員会会議以外の活動状況	5
5 施策ごとの取組状況	6～8
点検・評価シート	9～49
6 有識者委員会	50
7 有識者委員会の意見	50～57
8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱	57・58

はじめに

下田市教育委員会の自己点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業について1年間の活動状況の課題や取組の方向性を、自ら点検及び評価を行い、有識者による外部の知見を入れることで、今後の効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

本報告書の作成に当たっては、点検・評価の客観性を確保するために、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会から点検・評価の内容及び手法に対するご意見をお聞きしました。

この点検・評価の結果を今後の施策に十分に反映させることで、本市の教育施策が適切、円滑に推進できるよう取組の強化を図ってまいります。

下 田 市 教 育 委 員 会

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

下田市教育委員会名簿

（令和5年度当初 在籍委員）

職 名	氏 名
教 育 長	山 田 貞 己
教 育 長 職 務 代 理 者	田 中 と し 子
委 員	宮 内 慎 也
委 員	西 堀 政 幸
委 員	西 川 紀 栄

教育委員会点検・評価の概要

1 点検・評価の趣旨

(1) 点検・評価の目的

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、毎年事務の管理及び執行状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、市民に公表しています。

この自己点検・評価は、教育委員会の責任体制の明確化と教育行政の説明責任を果たすことを目的としています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価にあたっては、令和5年度に実施した事務事業について、令和3年4月から令和8年3月までの5年を対象期間とする下田市教育大綱で掲げる本市教育の基本理念『下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人』を目指し、その実現のための6つの取り組みである、「下田を感じる、味わう、好きになる取組」、「未来について思考する取組」、「居場所づくりに向けた取組」、「資質・能力を育成する取組」、「健やかな心身を育成する取組」及び「教育政策推進のための基盤整備に向けた取組」に分類して、点検・評価の対象としました。

(3) 点検・評価の方法

点検・評価については、施策、事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討した上で、今後の対応方向を記述しました。

事業は、点検・評価シートに基づき点検・評価を行い、教育委員の評価として

S	「確実な成果を出している。」
A	「一定の成果を出している。」
B	「やや成果が低い。」
C	「成果が低い。」

のいずれかの評価とその評価に基づくコメントを記載しました。

また、点検・評価の客観性の確保のため、教育に関し学識経験を有する方等、外部の意見をお聞きするため、外部評価委員会を開催しました。

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、毎月20日以降を目処に月1回の定例会を開催する計画を立て、必要に応じて臨時会を開催しています。

令和5年度は、12回（定例会12回）会議を開催しました。

定例会	臨時会	合計
12回	0回	12回

3 教育委員会会議の審議状況

地教行法第21条及び下田市教育委員会会議規則（平成27年下田市教育委員会規則第2号）に基づき、令和5年度は46件の議案を審議しました。

区分	番号	議案名
4月定例会 4月26日(水)	報第2号	専決処分の承認を求めることについて (下田市文化財保護審議会委員の任命について)
	報第3号	専決処分の承認を求めることについて (社会教育指導員の任命について)
	報第4号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立図書館協議会委員の任命について)
	報第5号	専決処分の承認を求めることについて (下田市青少年補導センター補導員の委嘱について)
	報第6号	専決処分の承認を求めることについて (下田市社会教育委員の委嘱について)
	報第7号	専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館運営審議会委員の委嘱について)
	議第21号	下田市ニューポート市交流中学生派遣事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
	議第22号 議第23号 議第24号	下田市立小学校在り方検討会議設置要綱の制定について 下田市学校給食運営協議会委員の委嘱について 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
5月定例会 5月23日(火)	議第25号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について)
	議第26号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和5年度下田市一般会計補正予算 第2号 教育委員会)
	議第27号	下田市学校運営協議会委員の委嘱について
	議第28号	下田市地域学校協働活動推進員の委嘱について
	議第29号 議第30号	下田市社会教育委員の委嘱について 公民館運営審議会委員の委嘱
6月定例会 6月30日(金)	議第31号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について

7月定例会 7月25日(火)	議第32号 議第33号	令和6～9年度使用小学校教科用図書の採択について 下田市子ども・子育て支援事業計画策定業務委託に係るプロポーザル方式選定委員会設置要綱の制定について
8月定例会 8月24日(木)	議第34号 議第35号 議第36号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和5年度下田市一般会計補正予算 第4号 教育委員会) 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
9月定例会 9月27日(水)	議第37号 議第38号 議第39号	下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会委員の委嘱について 下田市立小中学校体験プログラム事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について
10月定例会 10月23日(月)	議第40号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
11月定例会 11月28日(火)	議第41号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和5年度下田市一般会計補正予算 第5号 教育委員会)
12月定例会 12月25日(月)	報第8号 報第9号	専決処分の承認を求めることについて (教育委員会事務局職員の人事について) 2件 専決処分の承認を求めることについて (教育委員会事務局職員の人事異動について)
1月定例会 1月22日(月)	議第1号 議第2号	下田市中学生自転車損害賠償保険等加入に係る補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について 令和6年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針について
2月定例会 2月20日(火)	議第3号 議第4号 議第5号 議第6号 議第7号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和5年度下田市一般会計補正予算 第6号 教育委員会) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和6年度下田市一般会計予算 教育委員会) 下田市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について 静岡県費負担教職員人事の内申について
3月定例会 3月26日(火)	議第8号 議第9号 議第10号 議第11号 議第12号 議第13号	下田市教育委員会事務局職員の人事異動について 下田市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則の制定について 下田市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 下田市スポーツ大会開催費補助金交付要綱の制定について 下田市スポーツ大会等誘致推進事業補助金交付要綱の制定について 下田市スポーツ合宿等誘致補助金交付要綱の制定について

	議第 14 号	下田市立学校処務規程の一部を改正する訓令の制定について
	議第 15 号	下田市学校教育の基本方針について
	議第 16 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について

○議案審議の内訳

内 容	件 数
基本方針	2 件
議案の原案の決定	8 件
規則及び規程等の制定又は改廃	12 件
人事	18 件
要保護及び準要保護児童生徒の認定	5 件
その他	1 件
合 計	46 件

4 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 教育委員会点検評価有識者委員会

開 催 日	場 所
11 月 10 日(金)	下田市立中央公民館 大会議室

(2) 下田市総合教育会議

開 催 日	場 所
8 月 24 日(木)	下田市立中央公民館 大会議室
3 月 26 日(火)	下田市立中央公民館 大会議室

(3) その他

開 催 日	内 容
4 月 7 日(金)	市内小中学校入学式
2 月 28 日(水)	下田市教育委員会教育奨励賞授与式

※令和 5 年度は、日程の都合により、例年実施している教育施設訪問は、実施しませんでした。

5 施策ごとの取組状況

教育委員会では、目標を実現させるための取組に対応する事業について点検・評価シートを作成し、内部で点検・評価を行い、その後外部評価をいただき、意見をまとめました。

◇下田を感じる、味わう、好きになる取組

目標実現のための取組		事業等	Page
「自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます	体験プログラム事業	9
		青少年健全育成事業	10
		社会体育活動推進事業	
	下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探究を通して学びます	成人活動推進事業	11
		公民館活動推進事業	
		芸術文化振興事業	12
		市史編さん事業	13
	芸術文化振興事業		
	開国のまちの特色を生かして国際的なコミュニケーション能力を身に付けます	英語力向上推進プロジェクト事業	14
		英語検定受検推進事業	
ALT（外国語指導助手）配置			

◇未来について思考する取組

目標実現のための取組		事業等	Page
自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います	夢を思い描き、自分の生き方や下田の未来について考え、アクションを起こします	未来の下田創造プロジェクト	15
		青少年活動推進事業	16
	下田内外の職場や働く人の生き方から学びます	地域人材活用 総合的な学習の時間	17

◇居場所づくりに向けた取組

目標実現のための取組		事業等	Page
安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	公立保育所・認定こども園・民間保育所事業	18
		放課後児童対策事業	
		地域子育て支援センター運営事業	19
		ファミリーサポートセンター事業	
		子ども・子育て支援事業	20
		子ども子育て会議	
		児童生徒適応指導事業	21
		特別支援教育体制推進事業	
児童・生徒援護事業	22		
		23	

安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	不登校等対策連絡協議会 いじめ防止への対応 生徒指導研修会 人権教育	24
		学校公開・学校評価	25
		青少年健全育成事業	26
	命を大切にし、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します	通学路安全対策事業	27
		児童・生徒通学費補助事業 中学生自転車安全対策	28
		防災教育を通して、命を守るために自ら考え、人のためにも行動できる人を目指します	29

◇資質・能力を育成する取組

目標実現のための取組		事業等	Page
自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします	実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます 未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます 学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます	市指定研究校への支援 研修主任研修の開催 校内研修への支援	30
		教育資金利子補給事業 奨学奨励費交付事業	31
		授業づくり支援 初任者研修会の開催	32

◇健やかな心身を育成する取組

目標実現のための取組		事業等	Page
生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します	小・中学生対外派遣事業補助金 部活動指導員配置事業	33
		学校給食管理運営事業	34
		保健体育総務事務 社会体育活動推進事業	35
		下田市民スポーツセンター 管理運営事業 吉佐美運動公園管理運営事業	36
		社会体育活動推進事業	37
		道徳教育の充実	38
	道徳教育や読書活動の充実を図り豊かな心の育成を目指します	学校司書の配置・新刊図書の購入 学校図書館蔵書管理システム導入の拡大	39
		図書館管理運営事業	40・41

◆教育政策推進のための基盤整備に向けた取組

目標実現のための取組		事業等	Page
5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組めます	人材育成に向けた学びの機会や質を保障する教育予算の拡充	小・中学校管理事業	42
	I C T、ネット環境に関する基盤整備	G I G Aスクール構想の推進 小・中学校教育振興事業 賀茂地域校務事務共同化協議会	43
	子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティネットの構築	スクールソーシャルワーカー、 スクールカウンセラーの配置 関係機関との連携	44
		新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策	45
	生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	青少年海の家管理運営事業	46
下田市民文化会館管理運営事業		47	
公民館管理運営事業		48	
図書館管理運営事業		49	

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます	
事業等	体験プログラム事業	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【グローバルCITYプロジェクト事業補助金：4,000千円】						
	稲梓小	稲作、海の体験、鮎の友釣り、鰻もじり体験、陶芸、下田海中水族館見学、お飾り作り、昔遊び、いちご狩り、椎茸菌打ち等					
	稲生沢小	海の体験、下田海中水族館バックヤード見学、フォトフレーム作り、いちご農園見学、陶芸、寝姿山探検、昔遊び等					
	白浜小	陶芸、いちご狩り、ドルフィンタッチ、宿泊体験、歴史学習、サーフィン教室					
	浜崎小	地域学習、心太づくり体験、水産研究所見学、障害者スポーツ、下田海中水族館見学、理科実験教室、ジオ学習、いちご狩り等					
	下田小	下田海中水族館見学、サスケハナ号乗船、シーカヤック、ジオサイト教育、開国博物館見学、陶芸、寝姿山探検等					
	大賀茂小	稲作、町探索、宿泊体験、シーカヤック、ジオ学習、パン作り、お飾り作り					
	朝日小	寝姿山探検、ハーバリウム作り、梅ジュース作り、下田海中水族館見学、地域学習、宿泊体験、カヤック体験、いちご農家見学等					
	下田中	シーカヤック、船釣り、ジオ学習、郷土料理づくり、職業講話、職場体験、地域学習、総合学習発表会 等					
検 証	下田の豊かな自然、歴史、文化を感じるにより、下田を好きになる取組として、体験プログラム事業を実施した。地域の体験を通じてたくさんの感動が生まれるとともに、児童生徒一人ひとりの豊かな感性を育むことに繋がった。新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、工夫しながら様々な事業にチャレンジすることができた。下田中学校ではグローバル人材の育成を目的に総合的な学習としてプレゼン授業を実施した。全校合計で89回の事業を実施することが出来た。						
今後の課題 方 向 性	教育大綱に掲げる重要な取組の一つとして、地域人材の育成も踏まえながら、事業の継続を推進する。						
教育委員会 評 価	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">S 確実な成果を出している</td> <td>A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>			S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している						
B やや成果が低い	C 成果が低い						
評価に対する コ メ ン ト	地域の方々の協力を得て下田の美しい海・山の大自然、伝統文化を感じる体験学習や、キャリア教育などを通じ、児童生徒の郷土を愛する心と自分の将来を考える力を育成するよう、より一層充実させていきたい。						

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます	
事業等	青少年健全育成事業、社会体育活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【講座開催状況】		
	開催日	講座名	参加者
	8月19日（土）	親子漁船釣り教室	20名（親子・小学生）
	9月2日（土）	親子磯遊び教室	中止（台風のため）
検 証	【地域おこし協力隊】		
	<p>アウトドアスポーツの振興による地域活性化を目指すため、ライフセービングやオープンウォータースイミング等の大会・合宿誘致をはじめ、下田中学校サーフィン部の活動支援、市民向けトレーニング教室等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊員報償費 3,300千円 ・地域おこし協力隊支援業務委託 1,500千円 		
今後の課題 方向性	<p>予定していた磯遊び教室は天候により中止となってしまったが、身近にある恵まれた自然環境と地域の特性を活かした体験的な講座を開設した。</p> <p>地域おこし協力隊は、アウトドアスポーツ大会・合宿の誘致を推進することで、市外から人を呼び込み、地域活性化を図るとともに、部活動支援等を通じ、市民のためのスポーツ振興にも貢献した。</p>		
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	
	B やや成果が低い	C 成果が低い	
評価に対する コメ ン ト	<p>家庭、地域、学校と関係機関が連携し、下田の歴史や風土を生かした親子で楽しめる事業や地域おこし協力隊の協力を得ながら、下田における自然環境を活かしたスポーツの充実を図っていきたい。</p>		

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探求を通して学びます	
事業等	成人活動推進事業・公民館活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【各種学級の開設】			
	名称	対象	延人員	内容
	寿大学	高齢者	507	教養講座、健康講座、安全講座（11回）
	家庭教育学級	保護者	928	8学級、親の役割と青少年の育成等
	水産・海洋学講座	中学生以上	100	県・大学の研究機関等による市民講座（4回）
	【公民館講座】			
	名称	対象	参加者	内容
	オリジナルフォトフレーム作り体験教室	小中学生と保護者	19	シーグラス等を用いたフォトフレーム作り
	親子和菓子作り教室	小学生と保護者	23	和菓子作り
	伐っていかそう 伊豆の竹-竹の間伐とものづくり	小中学生と保護者	15	竹の伐採体験、猪料理試食
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級委託 120千円 ・公民館講座講師謝礼 46千円 			
検証	<p>高齢者を対象とした寿大学（11回実施）を開設した。寿大学は高齢者の交流の場としても機能しており、楽しみにされている方も多い。</p> <p>水産海洋学講座は市内研究機関等を講師に招き、幅広い世代に対し、市の財産である海の知識を学ぶ機会を創出した。</p> <p>公民館講座は、地域資源を活かした講座を企画し、子ども達をメインに、市民の生涯学習活動の推進につながっている。</p> <p>小中学校PTAに家庭教育学級の実施を委託し、各学級ごとの課題に対応した事業が実施され、家庭教育力の向上につながった。また、各学級の代表者を対象とした研修会を開催し、各学級の事業が充実するように努めた。</p>			
今後の課題方向性	<p>各種事業・講座については、一部内容の重複が見受けられるため、内容を精査するとともに、効率的な実施体制の構築が必要。</p> <p>郷土に関わる民間主催の講演会など、市民の生涯学習の推進に繋がる事業は、積極的に後援又は支援する。</p>			
教育委員会評価	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している		
	B やや成果が低い	C 成果が低い		
評価に対するコメント	<p>継続して受講する高齢者が多い講座は、楽しみや健康にもつながるような内容の充実を図り、幅広い世代を対象とした、下田の魅力を再発見できるような新たな事業を検討し、生涯学習の場の充実を図っていきたい。</p>			

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探求を通して学びます	
事業等	芸術文化振興事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【芸術祭開催状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th colspan="3">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第68回 下田市芸術祭</td> <td>会 期：前期 11月10日～12日 後期 11月17日～19日 会 場：下田市民文化会館 展示部門出展数：104点 舞台部門団体数：24 入場者数：1,404人</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				事業	内 容			第68回 下田市芸術祭	会 期：前期 11月10日～12日 後期 11月17日～19日 会 場：下田市民文化会館 展示部門出展数：104点 舞台部門団体数：24 入場者数：1,404人														
	事業	内 容																						
第68回 下田市芸術祭	会 期：前期 11月10日～12日 後期 11月17日～19日 会 場：下田市民文化会館 展示部門出展数：104点 舞台部門団体数：24 入場者数：1,404人																							
【まどが浜文化イベント「Sea&Rainbow We are Shimoda Kids」開催状況】 子どもたちの文化活動等の発表ができる場を創出するため、まどが浜海遊公園を活用した文化イベントを10月28日(土)に開催した。ステージ発表8団体、PRブース参加13団体、延べ800人の来場者があった。																								
検 証	【教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」開催状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>演 題</th> <th>講 師</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月24日(火)</td> <td>ペリーが見た幕末下田 ～「日本遠征記」挿絵版の魅力～</td> <td>菅野 龍磨</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>11月24日(金)</td> <td>アメリカ初代駐日総領事タウンゼント・ハリスについて</td> <td>尾形 征己</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>12月5日(火)</td> <td>吉田松陰像の課題</td> <td>立花 義彰</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>12月19日(火)</td> <td>江戸時代の仏像 ～伊豆南部の像を中心に～</td> <td>田島 整</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>				開催日	演 題	講 師	参加者数	10月24日(火)	ペリーが見た幕末下田 ～「日本遠征記」挿絵版の魅力～	菅野 龍磨	29名	11月24日(金)	アメリカ初代駐日総領事タウンゼント・ハリスについて	尾形 征己	21名	12月5日(火)	吉田松陰像の課題	立花 義彰	22名	12月19日(火)	江戸時代の仏像 ～伊豆南部の像を中心に～	田島 整	20名
	開催日	演 題	講 師	参加者数																				
	10月24日(火)	ペリーが見た幕末下田 ～「日本遠征記」挿絵版の魅力～	菅野 龍磨	29名																				
	11月24日(金)	アメリカ初代駐日総領事タウンゼント・ハリスについて	尾形 征己	21名																				
	12月5日(火)	吉田松陰像の課題	立花 義彰	22名																				
12月19日(火)	江戸時代の仏像 ～伊豆南部の像を中心に～	田島 整	20名																					
芸術祭は4年ぶりに展示、舞台の両部門を開催した。 まどが浜海遊公園にてまどが浜文化イベント「Sea&Rainbow」を開催し、子どもたちの文化活動等の発表・体験の場を創出した。 教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」を開催し、南豆、特に下田に関する歴史を再認識し、地元研究者を中心とした専門性の高い講座内容を提供することで、市民の余暇活動の充実を図った。																								
芸術祭等、文化協会及び文化団体等の活動を支援する事業の充実を図る。 子どもたちの文化活動等の発表・体験の場となったまどが浜文化イベントに、より多くの団体等に参加してもらえるように周知を図る。 幅広い文化芸術活動を推進し、若い世代に活動が広がるように努めたい。																								
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している B やや成果が低い C 成果が低い																							
評価に対する コ メ ン ト	芸術祭やまどが浜文化イベント等を通じた文化活動により、芸術・文化の振興を図りたい。																							

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探求を通して学びます	
事業等	市史編さん事業、芸術文化振興事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【市史編さん】</p> <p>『資料編4』近現代、『通史編(上)』考古・古代・中世、『通史編(下)』近現代・近世の刊行に向け、資料収集、資料調査、原稿作成等を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬（市史編さん補助） 1,068千円 ・報償費（市史編さん委員の調査活動等謝金） 2,788千円 <p>【文化財等の保存と活用】</p> <p>静岡県文化財保存費補助金を活用し、県指定史跡である吉田松陰寓寄処の耐震補強工事を1,320千円(静岡県文化財保存費補助金625千円)で実施した。</p> <p>R5入館者数：1,796人</p> <p>【グローバル推進事業】</p> <p>吉田松陰関係史跡巡りイベント「しょういん探検隊」の開催</p> <p>下田ゆかりの幕末志士吉田松陰に関する史跡・場所を巡ることにより、市内児童の郷土の歴史に対する関心を高めてもらうことを目的として10月8日(日)に実施し、親子等で12名が参加した。</p>
検証	<p>刊行予定の書籍の資料収集、資料調査や執筆の進捗状況について市史編さん委員と打合せを行いながら、刊行に向けた原稿作成等を行った。</p> <p>静岡県指定史跡吉田松陰寓寄処の維持管理に努め、震災等への対応とした耐震補強計画を策定し、将来にわたる安定的な保護・保存につなげた。</p> <p>グローバルCITYプロジェクトによる地域学習の推進に努めた。</p>
今後の課題 方向性	<p>市史編さんについては、『通史編』の早期刊行を目指す。</p> <p>吉田松陰寓寄処はPRやイベント開催を通し、入館者の増加に努める。</p> <p>歴史講座を始めとする地域学習を推進するとともに、文化財等の保護保存にも努めることで、市民がふるさとの歴史を学ぶ機会を創出し、グローバルな人材育成につなげていく。</p>
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	<p>通史編の早期刊行に努めたい。</p> <p>吉田松陰寓寄処及び文化財の計画的な維持管理及び活用を図っていききたい。</p> <p>グローバルCITYプロジェクトの取組である地域学習を充実させていきたい。</p>

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○開国のまちの特色を生かして国際的なコミュニケーション能力を身に付けます	
事業等	英語力向上推進プロジェクト事業・英語検定受検推進事業・A L T (外国語指導助手)配置	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【英語力向上プロジェクト事業：750千円】 玉川大学との連携事業、学生を招き小学校において英語の授業を実施 春の交流：稲生沢小 秋の交流：白浜小、朝日小</p> <p>【中学校A L T・小学校外国語活動社会人活用：5,130千円】 小中学校8校全てに指導助手（地域の社会人活用）及びA L Tを7名配置</p> <p>【英語検定受検推進事業：1,024千円】 児童59人、生徒220人、計279人に英語検定受検料を全額補助</p> <p><補助内訳> ()は合格者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">受検級</th> <th colspan="2">児童受検者</th> <th colspan="2">生徒受検者</th> <th colspan="2">受検者計</th> </tr> <tr> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1級</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1(0)</td> <td>0</td> <td>1(0)</td> </tr> <tr> <td>準1級</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2(2)</td> <td>0</td> <td>2(2)</td> </tr> <tr> <td>2級</td> <td>1(0)</td> <td>0</td> <td>1(0)</td> <td>8(3)</td> <td>2(0)</td> <td>8(3)</td> </tr> <tr> <td>準2級</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>24(20)</td> <td>28(12)</td> <td>25(21)</td> <td>28(12)</td> </tr> <tr> <td>3級</td> <td>2(2)</td> <td>3(2)</td> <td>64(40)</td> <td>78(52)</td> <td>66(42)</td> <td>81(54)</td> </tr> <tr> <td>4級</td> <td>17(8)</td> <td>11(8)</td> <td>59(50)</td> <td>66(54)</td> <td>76(58)</td> <td>77(62)</td> </tr> <tr> <td>5級</td> <td>29(20)</td> <td>45(29)</td> <td>26(24)</td> <td>37(31)</td> <td>55(44)</td> <td>82(60)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>50(31)</td> <td>59(39)</td> <td>174(134)</td> <td>220(154)</td> <td>224(165)</td> <td>279(193)</td> </tr> </tbody> </table>						受検級	児童受検者		生徒受検者		受検者計		R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	1級	0	0	0	1(0)	0	1(0)	準1級	0	0	0	2(2)	0	2(2)	2級	1(0)	0	1(0)	8(3)	2(0)	8(3)	準2級	1(1)	0	24(20)	28(12)	25(21)	28(12)	3級	2(2)	3(2)	64(40)	78(52)	66(42)	81(54)	4級	17(8)	11(8)	59(50)	66(54)	76(58)	77(62)	5級	29(20)	45(29)	26(24)	37(31)	55(44)	82(60)	計	50(31)	59(39)	174(134)	220(154)	224(165)	279(193)
	受検級	児童受検者		生徒受検者		受検者計																																																																					
R 4		R 5	R 4	R 5	R 4	R 5																																																																					
1級	0	0	0	1(0)	0	1(0)																																																																					
準1級	0	0	0	2(2)	0	2(2)																																																																					
2級	1(0)	0	1(0)	8(3)	2(0)	8(3)																																																																					
準2級	1(1)	0	24(20)	28(12)	25(21)	28(12)																																																																					
3級	2(2)	3(2)	64(40)	78(52)	66(42)	81(54)																																																																					
4級	17(8)	11(8)	59(50)	66(54)	76(58)	77(62)																																																																					
5級	29(20)	45(29)	26(24)	37(31)	55(44)	82(60)																																																																					
計	50(31)	59(39)	174(134)	220(154)	224(165)	279(193)																																																																					
検証	<p>英語力向上プロジェクト事業では、玉川大学英語学科の学生による授業を行い、子どもたちの英語に対する興味を高めると共にコミュニケーション能力の育成を図った。また玉川大学の講義の視察を行い、教員の資質能力の向上に努めた。</p> <p>中学校A L T・小学校外国語活動の社会人活用については、専門性を活かした指導の充実、教員へのサポートを進め、小学校外国語活動や中学校英語科の授業の充実に取り組んだ。英語検定受検推進事業は、英語検定を通じて英語力を伸ばす一助となった。本年度は1級に挑戦する生徒もおり、積極的な姿勢が見られた。</p>																																																																										
今後の課題 方向性	英語教育の充実とグローバルな視点を持つ子どもの育成を進めたい。英語検定受検推進事業は、受験者数が昨年より増加しており継続的に事業を推進する。																																																																										
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している		A 一定の成果を出している																																																																								
	B やや成果が低い		C 成果が低い																																																																								
評価に対する コメント	英語力を向上させる取組や、グローバルな人材の育成に向けて、今後も具体的な取組をより一層充実させていきたい。																																																																										

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組2 未来について思考する取組		
	◇自分の将来や地域の未来について 思考する素地を養います	○夢を思い描き、自分の生き方や下田の未来 について考え、アクションを起こします	
事業等	未来の下田創造プロジェクト	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p style="text-align: center;">【未来の下田創造プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第21回 令和6年1月16日(火) 中央公民館 2F 大会議室 <p>『通う子どもも、働く大人も、通わせる保護者も、地域も、誰もがワクワクする ～未来の下田を担う35歳の地元住民を育てる～ 新しい小学校の〇〇』</p> <p style="text-align: center;">参加者：小中高教職員、地域、行政代表 31人</p>				
検 証	<p>少子高齢化社会から人口減少社会へ移行し、予測困難な時代を迎えようとしている中、これからの学校は未来の地域づくりを担うことが求められ、その実現に向け、学校と地域が一体となって学校づくりをしていくことが指摘されている。未来の下田創造プロジェクトは、それらの課題に対し、「未来の地域を担う人材を育成する」という視点に立ち、小中高教職員、地域、行政代表が集い、協議検討するため、下田市立学校統合準備委員会の下部組織の部会の一つとして、平成30年7月に設置された。令和5年度はじめまでに20回の会議を重ね、「未来の地域を担う人材を育成する」ために整理した12のキーワードを用いて、立場の異なる者同士がディスカッションを通じて地域づくりを担う人材を育成する新たなアイデアの創出を図っている。令和5年度においては、「新しい小学校の〇〇」と題し、誰もがワクワクする小学校の在り方について意見交換を行った。参加した方々のリフレクションから検証すると、本プロジェクトは下田市の未来について考えることはもとより、参加者にとっては新しい知識や考え方を得られる機会となっている。特に教職員にとっては良い研修機会としても寄与している。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>下田市グローバルCITYプロジェクトの取組の一つとして進めるとともに、未来の下田を担う人材を育成する新しい学校づくりを目指して議論し、少人数化が進む小学校の在り方に繋げていきたい。</p> <p>また、保育所・認定こども園も含めた小・中・高の教職員の連携による教育プログラムの検討や教育環境改善に向けた検討を行いたい。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: none; border: 1px solid black;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">B やや成果が低い</td> <td style="border: none;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コ メ ン ト	<p>これまででない新たなプロジェクトであり、各小学校において少人数化が進む中、下田らしい小学校の在り方に繋がる提案及び、小・中・高、地域、行政との連携により、新たな動き、取組が生まれるよう期待したい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組2 未来について思考する取組		
	◇自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います	○夢を思い描き、自分の生き方や下田の未来について考え、アクションを起こします	
事業等	青少年活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【二十歳の集い(旧成人式)】</p> <p>開催日：令和6年1月7日(日) 会場：下田中学校 体育館</p> <p>参加者：125人(男性65人、女性60人)</p> <p>内容等：オープニング(下田太鼓伝統保存会)</p> <p>国歌斉聴、開式、式辞、二十歳の宣言、祝辞、二十歳の誓い</p> <p>恩師メッセージ(スペシャルムービー)、閉式</p>
検証	<p>二十歳を迎えた参加者が、総合司会を行ったほか、「二十歳の宣言」や「二十歳の誓い」を述べる等、積極的に式に参加した。</p> <p>「二十歳の誓い」では、稲梓中学校及び下田東中学校出身の参加者が二十歳を迎えての決意と抱負についてスピーチを行った。</p> <p>出席できなかった参加予定者や家族のために、式典の様様をYouTubeでも配信(限定配信)した。</p> <p>令和5年度は市民文化会館の改修工事のため、令和4年度に続き下田中学校での開催となったが、式典を滞りなく進行することができた。</p>
今後の課題 方向性	令和6年度は市民文化会館大ホールで実施する。
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	「二十歳の集い」として、対象者の意向も把握しながら式の内容を検討したい。20歳を迎える成年が改めて大人としての責任を自覚できるよう、地域全体で門出をお祝いする式を実施していきたい。

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組2 未来について思考する取組		
	◇自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います	○下田内外の職場や働く人の生き方から学びます	
事業等	地域人材活用・総合的な学習の時間	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【総合的な学習の時間等における地域の人材活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A職員及び地域の農家と連携した農業体験（稲梓小、白浜小、大賀茂小他） ・ 地域の魅力を知り、伝える学習※温泉、史跡、GEO等（稲生沢小、朝日小他） ・ 絵本作家、お寺の住職等による地域貢献に取り組む生き方学習（稲梓小） ・ 地域の干物業者と連携した、干物作り体験学習（浜崎小） ・ 賀茂危機管理局と連携した防災学習（朝日小、下田小、浜崎小、稲生沢小等） <p>【コミュニティ・スクールにおける協働活動】（下田中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭科の授業において着付け教室の先生を招いての浴衣の着付け体験 ・ 職場体験受け入れ先リスト作成し、幅広い職種での職業体験 ・ 職業体験に合わせた地元企業の方による面接作法の指導 ・ 賀茂地域の特色ある事業者を招いての職業講話の実施 				
検 証	<p>自分の住んでいる地域の未来を考えるにあたって、まずは地域の良さを知ることが大切である。地域の方々と積極的に交流をもつことで、自分の住んでいる地域の魅力を知ったり、自分や地域の未来を考える学習につなげることができた。また、この学習を通して、「地域貢献」という考え方にふれることができたことも、子ども達にとって貴重な経験となった。</p> <p>下田中学校に学校運営協議会を設置し地域と「協働」で学校運営を行うコミュニティ・スクールの取組を開始した。地域と学校をつなぐ役割を果たす地域学校協働活動推進員を含む13名の委員の提案・協力により、総合的な学習の時間の充実に取り組んだ。従来先生の伝手で職場体験の受け入れ先を探す作業を行っていたが、法人会の協力を得て事業所の方から「こども『仕事共育』事業所」として67者もの企業に受け入れ先として登録をいただき、生徒のエントリー方式による職場体験を実施することができた。事後アンケートでは生徒はもちろん受け入れていただいた事業者からもよいPRの機会にもなったと高い評価が得られた。</p>				
今後の課題 方 向 性	<p>本年度より学校と地域を結びつける活動としてコミュニティ・スクールの活動を開始した。少子化、教職員の減少等ある中で、教育環境の将来にわたり持続可能な体制となるよう支援を行っていく。来年度は小学校においても導入する。</p>				
教育委員会 評 価	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">S 確実な成果を出している</td> <td>A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コ メ ン ト	<p>地域の特色や地域人材との交流の中で学ぶことは、最も重要なものの一つであるため、コミュニティ・スクールの活動、取組にも期待したい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	公立保育所・認定こども園・民間保育所事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	【公立保育所・認定こども園の管理運営事業】							
	(入所児童数 4/1)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	下田保育所	0人	11人	11人	8人	15人	14人	59人
	認定こども園	2人	12人	19人	34人	31人	35人	133人
	計	2人	23人	30人	42人	46人	49人	192人
	利用者負担金 12,630千円（収入未済額 111千円、不納欠損額 84千円）							
	【民間保育所事業】							
	多様な保育推進事業補助金	10,929千円（特財 4,132千円）						
	待機児童解消特別対策事業費補助金	1,560千円（特財 730千円）						
	民間保育所給食費補助金	3,027千円						
	民間保育所建設費償還事業補助金	2,100千円						
	安全対策事業等補助金	350千円（特財 350千円）						
	感染症防止対策事業費補助金	700千円（特財 350千円）						
	保育所運営費	198,060千円（特財 153,272千円）						
	利用者負担金 8,454千円（収入未済額 936千円、不納欠損額 535千円）							
検 証	<p>公立保育所1園と民間保育所1園、公立認定こども園1園と民間認定こども園1園の4施設で幼児教育及び保育を実施した。</p> <p>公立施設では、施設や設備の老朽化が進む中、安全な保育環境を維持するために必要な修繕等を行い施設管理に努めた。また、送迎バスの安全対策として、安全装置の設置に加え、ICTシステム導入により児童の安全確保に努めた。民間保育所については、運営費の支出をするとともに各種補助金の交付を行い、適正な運営体制の確保に努めた。</p>							
今後の課題 方向性	<p>安全安心かつ良質な幼児教育・保育環境を維持するため、適切な施設の維持管理及び保育士の確保に努める。また、津波浸水想定区域内にある下田保育所のあり方についても検討していくとともに、有事への備えを再検討していく。</p> <p>民間保育施設に対しては、適切な運営体制の確保に向けた支援、指導を継続して行っていく。</p>							
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している		A 一定の成果を出している					
	B やや成果が低い		C 成果が低い					
評価に対する コ メ ン ト	<p>保護者や地域と連携し、適切な運営をすることができた。今後も引き続き、幼児教育・保育の充実に努めたい。また、多様化する保育ニーズを把握するとともに、下田保育所の在り方については、下田認定こども園への統合について検討を進めていきたい。</p>							

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	放課後児童対策事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	【放課後児童クラブ入室延べ児童数】 (単位：人)											
	区 分	1年生		2年生		3年生		4年生以上		合 計		
		通年	長期 休み	通年	長期 休み	通年	長期 休み	通年	長期 休み	通年	月平均	長期 休み
	下田 小学校	211	6	122	5	168	4	231	18	732	61.0	33
	稲生沢 小学校	85	3	117	7	60	1	77	4	339	28.3	15
	朝日 公民館	59	0	96	0	128	3	65	4	348	29.0	7
	浜崎 小学校	76	6	70	2	24	0	48	5	218	18.2	13
	稲梓 小学校	82	1	36	0	36	3	37	6	191	15.9	10
	白浜 小学校	31	5	43	0	12	3	24	4	110	9.2	12
	合 計	544	21	484	14	428	14	482	41	1,938	161.6	90
<p>開 設 日：月曜日から土曜日（浜崎小・稲梓小・白浜小は月曜日から金曜日）</p> <p>開設時間：（平日）授業終了後から午後5時30分まで</p> <p>開設時間：（土曜日,長期休校日）午前8時30分から午後5時30分まで</p>												
検 証	<p>保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対し適切な遊び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、「放課後児童クラブ」を開設している。下田小学校、稲生沢小学校、朝日地区（朝日公民館）、浜崎小学校、稲梓小学校及び白浜小学校の6か所での保育を実施した。</p> <p>通年の登録児童数は、全クラブで月平均約162人、春・夏・冬季の長期休み期間には、通年登録の児童のほか延べ90人の登録があった。</p>											
今後の課題 方向性	<p>全小学校区で放課後児童クラブの整備は完了したが、朝日公民館で実施する朝日地区放課後児童クラブについて、保育環境の改善を図るために移転を含めた運営の検討を進める。</p>											
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している					A 一定の成果を出している						
	B やや成果が低い					C 成果が低い						
評価に対する コ メ ン ト	<p>引き続き放課後児童クラブの適切な運営により保育環境を充実させ、子どもたちの居場所づくり及び子育て支援に努めたい。</p>											

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事業等	地域子育て支援センター運営事業、ファミリーサポートセンター事業、子ども・子育て支援事業	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【地域子育て支援センター運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員1人・会計年度任用職員2人体制、日数236日、利用人員3,571人 ・交流の場の提供（開放）、子育て相談28件、支援センター通信の発行、講習等の実施10回、参加者183人（保健師講話、歯のお話、食育講座他）、親子体験事業46回、参加者1,827人（体育館で遊ぼう、親子体操教室他）、定例事業88回、参加者1,164人（誕生会、発育測定等） <p>【ファミリーサポートセンター事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まかせて会員登録29人、お願い会員登録46人、利用実績7人 42件 <p>【病児保育事業、実費徴収に伴う補足給付事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人員145人、病児保育事業補助金7,178千円（特財5,712千円） <p>※R5実費徴収に伴う補足給付対象者なし</p>				
検 証	<p>子育て支援センターでは、親子の交流の場の提供、各種講座の開催、子育て相談等を実施し、在宅で子育てする保護者の孤立化、育児不安の解消を図り、地域の子育て支援の核として事業を推進した。また、土曜日（第1・第3）の開所を試行的に実施し、平日は仕事で利用できない親子のふれあいの場としても活用された。</p> <p>保護者の就労と育児の両立を支援するため、ファミリーサポートセンターの運営を行った。令和5年度の実績としておねがい会員9人、まかせて会員4人、両方会員4人の新規登録があり、7人の会員から延べ42件の利用があった。</p> <p>その他、病気のために集団保育が困難な児童を一時的に預かる病児保育事業に対し、下田メディカルセンター（かるがも保育所）に補助金を交付し、施策の充実を図った。</p>				
今後の課題 方向性	子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子育てができるよう、各種事業の充実により子育て世帯のサポートを図る。				
教育委員会 評 価	<table border="0"> <tr> <td>S 確実な成果を出している</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	<input checked="" type="checkbox"/> A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	<input checked="" type="checkbox"/> A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コ メ ン ト	多様化する子育て世帯のニーズを把握し、子育て支援の更なる充実を図ってきたい。				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事業等	子ども・子育て会議	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援法に基づき設置され、子ども・子育て支援事業計画に関するもののほか、子育て支援施策の検討、実施状況について審議するものであり、令和5年度においては2回開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">開催日</th> <th style="width: 80%;">審 議 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1月30日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期下田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 ・第3期下田市子ども・子育て支援事業計画の策定について </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3月19日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期下田市子ども・子育て支援事業計画の策定について </td> </tr> </tbody> </table>			開催日	審 議 内 容	1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期下田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 ・第3期下田市子ども・子育て支援事業計画の策定について 	3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期下田市子ども・子育て支援事業計画の策定について
開催日	審 議 内 容								
1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期下田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 ・第3期下田市子ども・子育て支援事業計画の策定について 								
3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期下田市子ども・子育て支援事業計画の策定について 								
検 証	<p>令和6年度末で計画期間が終了する第2期下田市子ども・子育て支援事業計画について、2回の会議で進捗状況や、次期計画策定スケジュール及びニーズ調査等について審議を行った。</p> <p>第2期計画策定では、小学生までの全ての子どもに対し行っていたニーズ調査を、第3期では1世帯1調査票とし、保護者の回答の負担減を検討し、令和6年度実施のニーズ調査について協議した。</p>								
今後の課題 方 向 性	<p>多様化する子育てニーズを把握し、少子化が進む中での対応を検討するとともに、市の子育て支援事業の充実につながる、第3期子ども・子育て支援事業計画の令和6年度末策定を目指す。下田保育所の在り方を含め、市の課題や施策について検討する。</p>								
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している							
	B やや成果が低い	C 成果が低い							
評価に対する コ メ ン ト	<p>市の子育て支援の充実に向け、課題や必要量を見極め、幅広く子育て支援施策を検討、検証することが期待される。</p>								

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事業等	児童生徒適応指導事業・特別支援教育体制推進事業	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【支援員等の効果的な配置：会計年度任用職員報酬 27,690 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員 25 人 <p>【市巡回相談等の実施：謝礼 576 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育相談員（臨床心理士）による巡回相談（年 20 回実施） ・市就学支援委員会専門部会による幼保こども園の訪問 ・特別支援教育相談員（臨床心理士）による WISCIV 検査（年 15 名実施） <p>【幼児ことばの教室及び適応指導教室の運営：会計年度任用職員報酬 2,932 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児ことばの教室指導員 1 人、適応指導教室指導員 3 人 <p>【特別支援教育就学奨励費：627 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級に通う児童生徒に対する扶助費 				
検証	<p>合理的な配慮が必要な児童生徒への対応や学習活動の充実等、子ども一人ひとりの思いや保護者の願いに寄り添った教育活動に取り組んだ。各校、合理的配慮の必要な児童生徒が増加傾向にあり、個別最適化が叫ばれる中、学校としても対応に苦慮している実情から効果的な支援を進める上では、特別支援教育支援員の充実が必須である。また、特別支援教育相談員（臨床心理士）を中心とした巡回相談を年20回実施し、発達に課題をもつ幼児・児童・生徒への支援に取り組むと共に、発達検査（WISCIV）等を実施することで、学齢児及び新学齢児保護者への就学相談を充実させることができた。</p> <p>幼児ことばの教室では、保・こども園や市民保健課健康づくり係、福祉事務所等と連携しながら該当保護者に助言し、就学前に適切な支援がなされるよう努めた。適応指導教室では、指導員 3 人を配置し、不登校傾向にある児童生徒に対して、それぞれの課題に応じた支援を行っている。</p> <p>なお、通級教室（小中学校であわせて 3 学級）、特別支援学級（小中学校合わせて 4 学級）が開設されており、市の特別支援教育体制が整備されている。</p>				
今後の課題 方向性	きめ細かな支援に取り組むとともに、各校の実態を把握した中で支援員の配置を進め、特別支援教育の充実を図る。				
教育委員会 評価	<table border="0"> <tr> <td>S 確実な成果を出している</td> <td>A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コメント	今後もさらに需要が高まることが予想される特別支援教育は、支援員等の適切な配置や効果的な支援の実現及び特別支援の確立を進めたい。				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事業等	児童・生徒援護事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【要保護児童及び準要保護児童への支援：準要保護児童就学援助費 1,196千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童3人、準要保護児童17人 <p>【要保護生徒及び準要保護生徒への支援：準要保護生徒就学援助費 1,492千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護生徒4人、準要保護生徒13人 <p>【特別支援教育への支援：特別支援教育就学奨励費 393千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童12人、生徒6人 				
検 証	<p>要保護及び準要保護児童生徒援助に関して、生活保護を必要とする世帯、または生活保護に準じた保護が必要な世帯の児童・生徒に対し、義務教育を円滑に実施することができるよう、学用品や修学旅行費など一定の援助を行い、保護者の経済的な負担の軽減を図った。新型コロナウイルス感染症の影響で仕事が減少した家庭や、離婚や傷病等で収入が減少した家庭からの新規申請があり、年度途中新規認定者は9名となった。また、再婚し経済状況が安定したことから就学援助の取消の申請があり、年度途中の準要保護認定取消者は1名となった。令和5年度末の認定者数は、前年度に対して8名増となった。</p> <p>経済的に困窮している家庭には、学校から保護者に制度の案内をし、就学援助制度の周知に努めた。</p> <p>特別支援教育就学奨励費に関して、小中学校の特別支援学級への就学の特殊事情を考慮し、就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の種類、程度に応じ就学に必要な経費について、一部を補助した。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>就学援助制度の周知、関係機関等との情報共有を徹底するとともに、学校、民生委員、福祉事務所と連携を図り、就学援助を必要とする児童・生徒の把握に努める。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: none; border: 1px solid black;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">B やや成果が低い</td> <td style="border: none;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>経済的理由により、教育を受ける環境等に差が生まれることがないよう、支援の更なる充実を図りたい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	不登校等対策連絡協議会・いじめ防止への対応・生徒指導研修会・人権教育	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【不登校児等対策連絡協議会 年1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内児童生徒の不登校についての情報共有及び協議 <p>【生徒指導研修会の開催 年4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の生徒指導担当者による情報交換 ・子ども一人ひとりを理解し、成長を支える生徒指導の推進 ・いじめ・不登校対策連絡協議会を兼ねた情報交換 		
検 証	<p>10月10日に生徒指導研修会を兼ね、不登校児童対策連絡協議会を開催した。賀茂児童相談所所長、福祉事務所、民生委員、児童委員、適応教室指導員とともに、市内の小中学生の不登校やいじめの状況について情報共有を行った。</p> <p>11月27日に下田市いじめ問題対策連絡協議会及び下田市いじめ問題対策専門委員会合同会議を開催した。令和5年度は、中学校のいじめ認知件数33件(昨年度34件)、小学校89件(昨年度126件)となり、各校では、いじめの積極的認知を行った結果が反映されていると認識している。早期発見の積み重ねが未然防止につながるため、軽微なものでも認知し学校から報告を挙げる体制を継続したい。なお、令和5年度も、いじめの重大事態及び解決の見通しが立たない深刻な事案はなかったため、専門委員会は連絡協議会と共催した1回のみ開催し、各小中学校の現状を把握するとともに、いじめ問題の未然防止と早期対応について協議した。</p> <p>生徒指導研修会では、気になる児童生徒等について情報交換するとともに、「いじめの積極的認知」と「早期組織的対応」の重要性について生徒指導担当との共通理解を図った。静岡県子ども未来局から講師を招聘し、ヤングケアラーについて学び理解を深めた。また、不登校児等対策連絡協議会を通して、子どもの実態をとらえ、的確な指導、支援につなげた。いじめ問題については、認知したいじめの詳細について、学校と市教委との情報共有に努めた。</p>		
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>特別な支援を必要とする児童生徒が関与する事例が増えている傾向にあるため、特別な支援を必要とする児童生徒の理解や的確な支援について理解を深めていく必要がある。</p>		
教 育 委 員 会 評 価	<p>S 確実な成果を出している</p> <p>B やや成果が低い</p>	<p>A 一定の成果を出している</p> <p>C 成果が低い</p>	
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>やがて社会に出て、一人の社会人として生きていく子どもたちに、人権感覚を育てるため、教職員のさらなる「気付き」の能力が求められる。</p>		

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事業等	学校公開・学校評価	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【学校公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより等による自校の教育活動についての発信 ・積極的な学校行事の公開や一日参観等の実施 <p>【学校評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者を対象とした学校生活アンケートの実施 ・学校生活アンケートの結果をもとにPDCAサイクルを機能させた教育活動の改善 ・学校自己評価及び学校評議員等による学校関係者評価の実施
検証	<p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行となり、学校行事や参観会等、学校を保護者や地域にこれまで通り公開することができるようになってきた。児童生徒の校外での体験学習も増えてきた。学校だより等で子どもの様子や学校の現状、教育活動のねらい等を発信し、地域との連携に努めることにより、学校の教育活動に協力したいという地域の思いは各校で見られ、それぞれの学校で地域の教育力を生かした活動につながった。また、コミュニティ・スクールが下田中学校で導入され、令和6年度から導入する小学校に参考となる実践となった。</p> <p>学校評価では、各学校で年2～3回児童・保護者を対象とした学校生活アンケートを実施し、その結果を各家庭や地域に還すとともに、全職員で確認し、具体的な解決策を探った。また、アンケートの実施に際しては、昨年度同様にICTを活用するなどの工夫をする学校もあり、保護者負担の軽減や回答率の向上を図った。こうしたPDCAサイクルを機能させることで、学校教育目標の具現に向けて、取組の改善を図った。また、学校評議員や地域の有識者による学校関係者評価を実施し、教育活動の改善に取り組んだ。</p>
今後の課題 方向性	地域の力をできる限り生かし、地域・家庭との連携・協働により「社会に開かれた教育活動」を実現する体制づくりを進める。
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	保護者も地域も自分たちの学校のために協力したいと考えており、教育活動の更なる充実を進めるためにも、PDCAサイクルを機能させ、社会に開かれた学校づくりを推進したい。

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	青少年健全育成事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【青少年健全育成の推進】 各小学校等における見守り活動、挨拶運動、街頭キャンペーンなどの実施 県主催のネット依存対策ワークショップ等への協力 キャンプ禁止区間に伴うパトロールの実施</p> <p>【青少年健全育成会】 青少年健全育成連絡協議会及び青少年補導センターとの合同研修会の開催 ・青少年健全育成啓発用品 25千円、青少年健全育成看板作成 14千円</p> <p>【青少年補導センター】 補導活動等の実施や青少年健全育成会との連携事業の実施 公用車による青色防犯パトロールを推進するための実施者講習会の開催 受講者 計10名（実施者証の更新：3名、新規取得者：7名） ・青少年補導員報酬 186千円</p>
検 証	<p>青少年補導センターでは、各地域から選出された補導員を委嘱し、地域での声掛け運動を始め、登下校時間などの青色防犯パトロール及び夜間の補導活動や、キャンプ禁止期間における海岸パトロール及び夜間指導などを実施した。</p> <p>また、非行防止キャンペーン等の広報啓発活動や店舗への立入調査等の環境浄化活動を実施し、地域ぐるみの青少年健全育成意識の向上を図った。</p> <p>青少年健全育成会と青少年補導センターによる合同研修会の実施により、地域学校協働活動の仕組みを学び、青少年の健全育成に伴う地域と大人の関わり方について意識向上が図られた。</p>
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>引き続き、各種キャンペーン等の実施を通じ、青少年の非行防止や犯罪被害を防ぐための活動を推進していく。</p> <p>また、各学校に、学校と地域の橋渡し役となる地域学校協働活動推進員を配置し、地域と学校の連携を深めることで、地域全体で子ども達を見守り、育んでいく環境を整備する。</p>
教 育 委 員 会 評 価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>青少年の健全育成にもつなげるため、地域学校協働活動を推進し、青少年の非行防止や青少年を犯罪被害から守るための活動へ広げていきたい。</p> <p>また、SNS関連の犯罪や非行防止に向けた新たな対策についても取り組んでいきたい。</p>

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○命を大切にし、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します	
事業等	通学路安全対策事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【通学路安全点検・街頭指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月10日 本郷交差点付近、敷根1号線、ローソン下田五丁目店ほか <p>【対策実施箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道135号線（白浜小学校入り口付近）：カラー舗装、区画線（外側線） ・国道414号線（auショップ付近）：障害物（看板）の撤去 ・市道蓮台寺停車場線（ハンディ付近）：障害物（ブロック）の撤去 				
検 証	<p>昨年度に引き続き入学式直後の早朝一斉街頭指導にあわせて、通学路に的を絞った街頭指導を行った。各学校より児童生徒の通学に係る危険箇所、課題を抽出し、各学校と情報共有を図った。不審者情報等通学路に異常が見られた際には防犯パトロールを実施し、また施設整備としてカラー舗装、区画線（外側線）の引き直しや障害物の撤去を実施した。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>通学路安全対策事業については、自転車通学生徒への安全運転の指導をはじめ、早朝一斉街頭指導及び青色防犯パトロールを継続するとともに、学校等から挙げられる危険箇所の把握に努め、緊急性が高い場所などについては、道路管理者等と安全対策を協議し、安全対策を実施する。</p> <p>また、子供の移動経路安全推進会議を活用し、下田市子供の移動経路に関する交通安全プログラム「通学路等の安全確保に関する取組の方針」に基づくPDC Aサイクルの実施により、通学路のより良い環境整備に努める。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: none; border: 1px solid black;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">B やや成果が低い</td> <td style="border: none;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>子供の移動経路安全推進会議が活用されなかった。引き続き関係機関との連携のもと、小中学校区の通学路安全対策を推進したい。細かな危険箇所まで点検して、更なる通学路の安全を目指したい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○命を大切にし、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します	
事業等	児童・生徒通学費補助事業・中学生自転車安全対策	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【児童・生徒通学費補助事業】</p> <p>○児童通学費補助金：1,532千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲梓小22人、白浜小13人、朝日小15人 計50人 路線バス及び市コミュニティバス平日通学定期券の支給 <p>○生徒通学費補助金：28,156千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期券補助 対象者247人 路線バス平日通学定期券＋土日用ウィークデー補助券の支給 ・自転車通学費補助 対象者92人 ※3学期分：92名 366,040円未払い発生年額14千円＋雨天時路線バス利用回数券の補助 <p>【自転車損害賠償保険加入補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下田中31件 生徒一人当たりの自転車通学者の損害賠償保険加入に係る保険料の1/2または1千円いずれか低い方の額 <p>【中学生自転車安全対策】</p> <p>新しく中学校へ自転車で通学する生徒に対し自発光式反射板を配付。</p>
検証	<p>児童・生徒の通学補助基準を定めた下田市立小中学校通学費補助金交付要綱により事業を実施している。生徒の自転車通学者を対象とした補助金における3学期の補助金について確認不足により未払いを発生させてしまい、令和6年度においてあらためて支払うこととなった。</p> <p>静岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例により、令和元年10月から自転車利用者の保険加入が義務化されたため、当該保険への加入促進を目的として保険加入に係る保険料に対しての補助を行い、保護者の負担軽減を図った。自転車損害賠償保険加入補助金については利用促進を図るため、世帯を対象にしていたところを生徒単位に変更するなど補助要件を緩和した。</p>
今後の課題 方向性	<p>通学補助事業となる補助金交付事務を適正に執行するとともに、問題点についても柔軟に対応し、学校並びに児童生徒に不都合の無いよう改善できる点については、適宜見直しを行いたい。物価高騰の影響により、定期券等の価格が上昇しているため、確実な保護者の負担軽減を図る。</p>
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	<p>通学補助は、児童・生徒における通学の安全性が確保されるとともに、保護者の負担軽減に繋がることから、継続していきたい。</p>

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○防災教育を通して、命を守るために自ら考え、人のためにも行動できる人を目指します	
事業等	地域と連携した防災・防犯教育	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【地域と連携した防災・防犯教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が連携した防災・防犯教育の実施 ・災害に応じた防災訓練等の見直しと効果的な実施 ・土砂災害や津波を想定した各校の避難経路の確認 		
検証	<p>昨年度同様、各校の災害リスクを踏まえて、地域の防災担当者や防災安全課及び賀茂振興局危機管理課と連携した取組を進めるなど、地域の実情に応じた防災教育の充実に努めた。</p> <p>また、土砂災害、津波や東南海トラフ地震を想定した避難確保計画や学校防災マニュアル等については、各校において適時見直しを行った。災害に応じた避難経路の再検討や避難訓練のあり方を考えるなど、安全かつ安心できる学校づくりを目指した。令和5年度は県くらし交通安全課主催の体験型防犯講座「あぶトレ！」を浜崎小学校において実施、児童の防犯意識の高揚を図った。</p>		
今後の課題 方向性	<p>土砂災害や津波及び東南海トラフ地震等、あらゆる災害にも対応した安全かつ安心できる学校づくりを推進するとともに、1月に発生した能登半島地震の状況を教訓とした計画の点検、見直しを行う。地域の協力が不可欠なソフト的施策の強化及び通学路の登下校時における防犯機能の強化を図る。</p> <p>近年の異常気象に伴う集中豪雨や短時間による気象変動への対応など、東南海トラフ地震等の大災害時の対応に加えて、身近な災害リスクへの対応も必要とされている。</p>		
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している B やや成果が低い	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A 一定の成果を出している</div> C 成果が低い	
評価に対する コメント	<p>災害時にも対応できる安全な学校施設の整備を推進するとともに、児童生徒の安全を守る防災教育の充実、緊急時の体制づくり等、防犯機能の強化、安全かつ安心できる学校づくりに努めたい。</p>		

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組4 資質・能力を育成する取組		
	◇自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします	○実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます ○未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます ○学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます	
事業等	市指定研究校への支援・研修主任研修の開催・校内研修への支援	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【市指定研究校への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年11月8日(水) 下田市教育研究会指定研究発表(白浜小) <p>【市研修主任研修会の開催 年3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の市の重点と各校の校内研修について ・魅力ある授業づくりについての協議 ・令和の日本型学校教育への転換について <p>【校内研修への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事による各小中学校の訪問と校内研修についての指導・助言
検 証	<p>下田市教育研究会指定研究発表では、白浜小学校が2年間にわたる研究実践の成果を発表し、自分が今何を学び、何を獲得していかなければならないかを子ども自身が確認したり、振り返ったりする中で自分の成長を感じながらその子なりの学びを深めて欲しいとの思いから「自分の学びを進める子」を研究テーマとして、子どもたちが学ぶことへの意欲や目的意識をもてるように「かかわり」に焦点を当てて研究を進めた。</p> <p>市研修主任研修会では、子どもが主体的に学ぶ授業や学びの実感を積み重ねる授業を目指して、各校の研修主任が協議し、計画を策定した。第2回の研修会の中では、令和5年度教職員中央研修に参加した、山田教諭(大賀茂小)に伝達講習を実施してもらい、令和の日本型教育について研修を深めることができた。</p> <p>また、下田中学校の県指定研究「誰一人取り残さない授業づくり、学級づくり」の中間報告会を行った。研修会において市内の学校間で研究の成果をシェアリングすることでより良い教育活動を広めることに繋がっている。</p>
今後の課題 方 向 性	令和の日本型学校教育をベースに個別最適な学びと協働的な学びの確立に迫っていけるように研修を進める。個別最適な学びを確立していくためにも人権教育や特別支援教育への理解を深めることと校内DX化の遅れを整備していく。
教育委員会 評 価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コ メ ン ト	各校では、熱心に授業改善の取組が進められている。技術発展がめざましい中、ICTを有効活用した個別最適な授業作りをしていくことが求められる。

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組4 資質・能力を育成する取組		
	◇自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします	○実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます ○未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます ○学んだことを人生や社会に活かそうとする力を身に付けます	
事業等	教育資金利子補給事業・奨学奨励費交付事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【教育資金利子補給金交付事業：263千円】 対象者18人に対して利子補給金を交付</p> <p>【就学奨励金交付事業：700千円】 対象者7人に対して就学奨励金を交付</p>
検 証	<p>教育資金利子補給金交付事業については、教育の機会均等と経済的負担の軽減を図り、教育の振興に寄与するため、教育資金の融資を受けた者に対する利子補給金を交付し、保護者の負担軽減を図った。令和5年度は変更申請が1件、新規申請が1件あり、2件全て認定した。</p> <p>就学奨励金交付事業については、経済的理由により高等学校等に就学することが困難な者に対し、その経済的負担の軽減を図り、有為な人材の育成及び教育の振興に資することを目的として交付した。下田市奨学生選考委員会にて、対象者7人に対し、一人当たり10万円の就学奨励金の交付を決定した。</p>
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>経済的理由により就学が困難な生徒に対し、必要な事業である。今後も学校と連携を取りながら、制度の周知、情報を共有していく。</p> <p>また、他市町の事例を参考に新たな保護者の負担軽減に繋がる支援制度などについても検討していきたい。</p>
教 育 委 員 会 評 価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>高校、大学への進学を支援する事業であるため、今後も継続して支援を行うとともに課題を整理し、更なる支援制度などにより充実を図りたい。</p>

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組4 資質・能力を育成する取組		
	◇自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします	○実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます ○未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます ○学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます	
事業等	授業づくり支援・初任者研修会の開催	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【授業づくり支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事による授業参観及び事後研修会 ・学級づくりや人間関係づくりを基盤とした授業についての指導・助言 <p>【市初任者研修会 年3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級づくりを基盤とした授業についての指導・助言 ・先輩授業の参観をきっかけとした、学級集団づくりについての協議 				
検 証	<p>各校への授業づくり支援では、指導主事が訪問を行う際、「個別最適な学び」「協働的な学び」を念頭に助言し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組んだ。</p> <p>初任者研修会では、先輩の授業を参観する中で、子どもの実態を的確に掴んだ授業構想について議論した。子どもたちが活発に意見交換をする授業の様子から日常的な子ども理解とやりとりが思いやりを育む学級づくりにつながることを学んだ。初任者の日頃の課題を語り合う時間も設定したことで、初任者にとって今後の教育活動について整理する時間となった。</p>				
今後の課題 方向性	<p>令和の日本型教育のキーワードである個別最適な学びと協働的な学びを充実させるためには、人権教育、特別支援教育の推進が欠かせないため、各種研修において話題にしていく。また、一人ひとりとの対話を大切にしながら、多様な見方・考え方を受け止め、尊重する授業づくりを進める。</p>				
教育委員会 評価	<table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> S 確実な成果を出している</td> <td><input type="checkbox"/> A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> B やや成果が低い</td> <td><input type="checkbox"/> C 成果が低い</td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> S 確実な成果を出している	<input type="checkbox"/> A 一定の成果を出している	<input type="checkbox"/> B やや成果が低い	<input type="checkbox"/> C 成果が低い
<input checked="" type="checkbox"/> S 確実な成果を出している	<input type="checkbox"/> A 一定の成果を出している				
<input type="checkbox"/> B やや成果が低い	<input type="checkbox"/> C 成果が低い				
評価に対する コメント	<p>様々な家庭環境や生育歴、発達障害等の背景を抱えた子どもたちが通っている小中学校において、子どもたち一人ひとりを的確にとらえ、安心して学ぶことができる授業づくりや学級づくりに繋げるとともに、適切な指導・助言ができるように努めたい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、 健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づく りを目指します	
事 業 等	小・中学生対外派遣事業補助金 部活動指導員配置事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【小中学校対外派遣事業補助金：3,626千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中体連、中文連等の大会へ派遣される経費の一部を補助金として支出 <p>【部活動指導員配置事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 674千円 ・部活動支援業務委託 522千円 <p>下田中学校 サーフィン部に部活動指導員2名を配置</p> <p>【部活動在り方検討協議会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年2月27日(火) <p>教職員の部活動に関する意識調査結果、他市町の事例紹介 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動の在り方等に関する方針</p>				
検 証	<p>小中学校児童生徒対外派遣事業補助金について、運動部、文化部の各種大会における生徒の対外派遣事業に要する経費を交付した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、生徒がのびのびと活動に取り組む姿が見られた。</p> <p>しかしながら物価高騰の影響により遠征費が高騰しており金額が大幅に増加したが、当補助金により充実した部活動を支える一助となった。</p> <p>部活動指導員配置事業等については、令和5年度以降、休日部活動の段階的な地域移行を図るとされている中、下田中学校に新たに設置されたサーフィン部に対し、部活動指導員2人を配置。(公財)下田市振興公社へ部活動支援業務を委託することで事業を実施した。専門的な指導の下、充実した部活動を行い、部活動顧問の多忙化解消にも寄与した。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>対外派遣事業補助金については、物価高騰の状況の中その重要性は増しているものとする。保護者の経費負担減にも繋がることから今後も継続し、生徒の活発な活動を支えていく。部活動指導員の配置や支援業務を活用しながら、下田市立中学校部活動在り方検討協議会の中で、国や県の動向も踏まえながら下田の地域特性を鑑みた部活動の地域連携、地域移行の検討を進める。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: none;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">B やや成果が低い</td> <td style="border: none;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>部活動の地域連携・地域移行化については、国、県の動向をしっかりと注視し、学校関係機関等との協議を進めるとともに、子どもたちや保護者等への周知も行いながら取り組んでいきたい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、 健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します	
事業等	保健体育総務事務、社会体育活動推進事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【学校体育施設の開放】</p> <p>市民の体育及びレクリエーションの振興を図るため、市内小学校及び中学校の施設（体育館、グラウンド）を開放し、各スポーツ団体に活動場所を提供した。</p> <p>学校施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 設</th> <th>件 数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館</td> <td>1,598 件</td> <td>21,698 人</td> </tr> <tr> <td>グラウンド</td> <td>228 件</td> <td>3,730 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【下田市体育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町対抗駅伝大会下田市選手団派遣業務委託 1,157 千円 ・下田市スポーツ祭業務委託 264 千円 ・下田市体育協会補助金(育成強化事業、普及事業他) 490 千円 <p>【全国大会等出場費補助金】</p> <p>スポーツ及び文化活動を通じた青少年の健全な育成を図るため、空手3名、陸上競技1名の計4名の選手に交付した。</p>	施 設	件 数	利用人数	体育館	1,598 件	21,698 人	グラウンド	228 件	3,730 人
	施 設	件 数	利用人数							
体育館	1,598 件	21,698 人								
グラウンド	228 件	3,730 人								
検 証	<p>学校体育施設の利用は児童から高齢者まで幅広く、多くの利用者の体力の維持向上、技術の向上、健康づくりにつながった。</p> <p>体育協会補助金を通じ、加盟競技団体への支援を実施した。下田市スポーツ祭は10種目の開催を通じて市民のスポーツ振興が図られた。また、静岡県市町対抗駅伝競走大会は市の部24位の結果であった。</p>									
今後の課題 方 向 性	<p>体育協会加盟団体の実態を把握した上で、必要な支援を適切に実施する。市のスポーツ施策の担い手である体育協会の活動を活性化させることで、課題となっている部活動の地域移行の解決にも繋げていきたい。</p> <p>競技スポーツの振興、スポーツ関係団体の育成を図るため、学校体育施設の適正な維持管理に努める。</p>									
教育委員会 評 価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>									
評価に対する コ メ ン ト	<p>学校体育施設の開放については、利用者が施設を安全・安心に利用できるよう、学校教育課、各学校と連携し、適切な管理運営に努めたい。</p> <p>また、中学校の部活動の地域移行が継続的な課題となっており、市内関係者と連携し、指導者育成や移行に向けた体制整備を進めていきたい。</p>									

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、 健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づくり を目指します	
事 業 等	下田市民スポーツセンター管理運営事業・吉佐美運動 公園管理運営事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	【下田市民スポーツセンター】 施設利用状況																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施 設</th> <th>件 数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体 育 館</td> <td>645</td> <td>14,343</td> </tr> <tr> <td>会 議 室 1</td> <td>244</td> <td>6,879</td> </tr> <tr> <td>会 議 室 2</td> <td>253</td> <td>2,147</td> </tr> <tr> <td>視 聴 覚 室</td> <td>426</td> <td>9,439</td> </tr> <tr> <td>創 作 実 習 室</td> <td>1,407</td> <td>4,590</td> </tr> <tr> <td>陶 芸 窯</td> <td>34</td> <td>486</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,009</td> <td>37,884</td> </tr> <tr> <td>利用料収入</td> <td colspan="2">3,902,000円</td> </tr> </tbody> </table>	施 設	件 数	利用者数	体 育 館	645	14,343	会 議 室 1	244	6,879	会 議 室 2	253	2,147	視 聴 覚 室	426	9,439	創 作 実 習 室	1,407	4,590	陶 芸 窯	34	486	合 計	3,009	37,884	利用料収入	3,902,000円		<ul style="list-style-type: none"> ・下田市民スポーツセンター指定管理料 21,448千円 ・修繕料 242千円（玄関ポーチ屋根防水修繕）
施 設	件 数	利用者数																											
体 育 館	645	14,343																											
会 議 室 1	244	6,879																											
会 議 室 2	253	2,147																											
視 聴 覚 室	426	9,439																											
創 作 実 習 室	1,407	4,590																											
陶 芸 窯	34	486																											
合 計	3,009	37,884																											
利用料収入	3,902,000円																												
検 証	【吉佐美運動公園】																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">使用者数</th> <th rowspan="2">使用料収入</th> </tr> <tr> <th>市 内</th> <th>市 外</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,099</td> <td>884</td> <td>5,983</td> <td>259,640円</td> </tr> </tbody> </table>	使用者数			使用料収入	市 内	市 外	計	5,099	884	5,983	259,640円	<ul style="list-style-type: none"> ・吉佐美運動公園管理業務委託 990千円 ・修繕料 1,106千円（トイレ入口目隠し、塁ベース交換等） 																
使用者数			使用料収入																										
市 内	市 外	計																											
5,099	884	5,983	259,640円																										
今 後 の 課 題 方 向 性	市民スポーツセンターは市民の健康増進施設として、多機能に利用されている。令和5年度はスポーツ振興くじ助成金を活用し館内の照明LED化工事を33,957千円で実施した。また、外壁タイル改修工事を4,158千円で実施した。 吉佐美運動公園は、児童から高齢者まで広く使われる施設であり、市民の健康増進、競技技術の向上などにつながっている。																												
教 育 委 員 会 評 価	S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している B やや成果が低い C 成果が低い																												
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	今後も、多くの市民が施設を安全安心に利用できるよう、スポーツ振興くじ助成金等を活用し、計画的な整備を実施する。 また、建設課が所管する敷根公園も含め、市内スポーツ施設を一体的に捉え、合宿や大会誘致等の有効活用、利用促進について検討していきたい。																												

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、 健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します	
事業等	社会体育活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【各種スポーツイベントの開催】	
	イベント名	参加者数
	ボッチャ教室	26
	新体力テスト	34
	ボッチャ大会	66
	第52回下田・河津間駅伝競走大会	荒天により中止
検 証	<p>下田市スポーツ推進委員会を中心に、市民が広くスポーツを楽しむ機会、健康づくりの場を創出している。</p> <p>令和5年度は、ボッチャ教室に加えてボッチャ大会を開催し、子どもからお年寄りまで幅広い参加があった。</p> <p>第52回下田・河津間駅伝競走大会は、荒天により中止となったものの、前回大会よりもエントリー数は増加となった。(32チーム→40チーム)</p> <p>その他、後援事業として、まどが浜海遊公園を会場にした「黒船アクアスロン」、「しもだマラソン」が開催された。</p>	
今後の課題 方 向 性	<p>多世代に渡り健常者・障害者が一緒に競い、楽しむことのできるスポーツとして、ボッチャの普及を今後も推進する。</p> <p>下田・河津間駅伝競走大会については、大会を継続していくため、第52回からは参加可能地域の拡大や、参加要件の見直し等の参加チーム数確保に向けた取組を実施した。今後はチーム募集に向けたPRを強化し、参加チーム数増加への取組を継続していく。</p>	
教育委員会 評 価	<p>S 確実な成果を出している</p> <p>B やや成果が低い</p>	<p>A 一定の成果を出している</p> <p>C 成果が低い</p>
評価に対する コ メ ン ト	各競技団体や、地域おこし協力隊等と連携し、市民が気軽に参加できるスポーツイベントを企画していく。	

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、 健やかな心身と豊かな感性を育みます	○道徳教育や読書活動の充実を図り豊 かな心の育成を目指します	
事業等	道徳教育の充実	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【道徳教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりが主体的に「考え、議論する道徳」の授業づくりの推進 ・教育活動全体を通じた豊かな心を育む道徳教育の推進
検証	<p>子どもたちが自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共により良く生きることを目標に各校で道徳教育の充実を図っていく。(各校では、子どもたちの自己肯定感を高めたり、自他の生命を大切にしたりするなど自他の生き方を尊重できる資質を育んだ。また、豊かな人権感覚をもち、他者を思いやる心を育むなどの道徳教育の充実を推進した。)</p> <p>Society5.0と呼ばれる予測困難な時代に求められる道徳の資質能力は、社会全体が問われていることと同様に答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え向き合うことである。そのために道徳教育においては、「考える道徳」、「議論する道徳」の推進に各校で取り組んだ。</p> <p>学習指導要領の改訂により実施となった「特別の教科道徳」について推進するための、具体的な指導方法や評価に関する情報を提供するとともに、各校で研修に取り組んだ。</p>
今後の課題 方向性	<p>学校教育の場においても多様な価値観に触れ、誠実に自分と違う価値観にも向き合う経験を得るために学校における道徳教育の充実に努める。</p>
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	<p>道徳教育を推進することは、価値観が多様化する現代社会を生きていく上で必要なことである。子どもたちの道徳性がより一層養われるように、適正な指導を行なうための具体的な取組を進めたい。</p>

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、 健やかな心身と豊かな感性を育みます	○道徳教育や読書活動の充実を図り豊 かな心の育成を目指します	
事 業 等	学校司書の配置・新刊図書購入 学校図書館蔵書管理システム導入の拡大	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【学校司書の配置：会計年度任用職員報酬 4,323 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書 2 人 ・学校司書の市内全小中学校の巡回による読書環境の充実 ・学校司書及び図書館職員が連携した読書活動の充実 <p>【新刊図書の購入：図書購入費 2,106 千円】</p> <p>小学校 1,407 千円、中学校 700 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の読解力に応じた優良図書の購入 ・読書感想文推薦図書の購入 <p>【学校図書館管理システム：システム使用料 759 千円】</p> <p>小学校 616 千円、中学校 143 千円</p>				
検 証	<p>学校司書 2 人が毎月小中学校を 3 日程度巡回訪問することで、各校の図書室などにおける読書環境の充実に取り組んだ。</p> <p>学校の要望を踏まえて、教員と学校司書及び図書館職員が連携し、児童の読書意欲向上に向けて掲示物の作成や読み聞かせを実施、また学校司書の専門性を活かし、児童の読解力に応じた優良図書の紹介、新刊図書購入時のアドバイス等、学校図書室の環境整備や各校における読書活動の充実に繋がった。</p> <p>さらに専門性を高めるため、市立図書館職員との交流や読書指導にかかわる意見交換会、図書館司書研修会などに参加して得られたことを各校に還元した。</p> <p>学校図書館管理システムを市内小中学校全校に導入し、バーコードによる図書管理の効率化を進めた。併せて管理システムの全校導入に伴い児童生徒のタブレット端末にシステムと連携した図書検索アプリである「ぽけっと図書館」を導入し、児童生徒の読書機会の創出を図った。</p>				
今後の課題 方向性	市内小中学校における学校司書を 3 人体制とすることを検討する。蔵書管理システムの有効活用、図書購入費の確保及び、各小学校図書室に空調設備の設置を推進することで、読書環境を充実させる。				
教育委員会 評 価	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">S 確実な成果を出している</td> <td>A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コ メ ン ト	学校図書館管理システムの導入に伴い、児童生徒の読書環境の改善に繋がった。学校、学校司書、市立図書館が連携していくことは効果的であることから、今後も学校司書による読書指導の充実を図っていきたい。				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、 健やかな心身と豊かな感性を育みます	○道徳教育や読書活動の充実を図り豊 かな心の育成を目指します	
事 業 等	図書館管理運営事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	図書館の貸出状況		※開館日以外は延べ数				
			開館日数	貸出人数	貸出冊数	登録者数	
			275日	9,245人	47,703冊	11,554人	
	蔵書冊数						
			購入図書	寄贈図書	廃棄図書	総 数	
			1,787冊	392冊	4,857冊	101,724冊	
			・図書購入費 3,065千円				
	お話し会等実績						
			業	内容・関係団体等	回数	児童等	成人
	定 例 行 事	移動図書館	社会福祉協議会（ひよこサロン）	12	191	178	
		移動図書館	寿大学	10	0	419	
		ファーストブック	読み聞かせ及び絵本と図書館バックのブ レゼント（当日21組、後日受取28組）	6	21	21	
		セカンドブック	読み聞かせ 7/5	1	11	9	
	企 画 行 事	朗読会	平和を願う朗読会鮎の詩 12/10	1	0	32	
		体験型ブック	「伊豆の踊子」下田編 11/4	1	0	19	
文学シンポジウム		下田市文学シンポジウム 11/21	1	0	301		
ブックストリート		まちじゅう図書館ブックストリート	2	0	500		
依 頼 対 応	移動図書館	稲生沢小学校、浜崎小学校	4	261	0		
	移動図書館	子育て支援センター 7/5	1	11	9		
	おはなし会	稲生沢小学校、浜崎小学校	4	172	0		
	おはなし会	子育て支援センター	2	22	22		
	図書館利用体験	下田認定こども園、下田保育所	2	48	0		
	授業支援	朝日小学校、大賀茂小学校（宮沢賢治）	2	29	0		
	職場体験	稲取高校インターン受入 12/6	1	2	0		
合 計			50	768	1,510		

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

<p>検 証</p>	<p>例年実施している「おはなし会」については、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、図書館での実施は中止し、寿大学をはじめ、市役所他課や社会福祉協議会と連携したイベント時等での移動図書館を27回開催し、子育て支援センターでの出張おはなし会を2回、読み聞かせボランティアグループ『鮎の詩』による朗読会（大人向け1回）を開催した。</p> <p>5か月児の親子等を対象とした「ファーストブック」は、コロナ対策を徹底した中で、偶数月に開催し、図書館バッグ1袋と絵本1冊を49セットプレゼントした。</p> <p>令和5年度から、読書推進と下田の文学普及・活用のため、2つの文学イベントを実施した。</p>
<p>今後の課題 方 向 性</p>	<p>令和6年度末に移動図書館車を導入し、令和7年度より運用を開始する予定。当面は市民らが集うイベントに参加し、その後市内各地の公民館等を定期巡回するよう事業を進め、市民の読書活動の向上に繋げたい。</p> <p>令和3年度発案のまちじゅう図書館事業が、令和5年度にようやく5店舗が「まちの図書館」の認定を受ける形で動き始めたが、内1店舗が令和5年度中に終了し、令和5年度末で4店舗となった。</p> <p>今後については、従来の図書館主導でまち図書館を増やす取組とともに、本事業に係る市民の主体性を育む組織や仕組づくり等を整備するため、先進事例の講演会の開催等を検討していきたい。</p>
<p>教育委員会 評 価</p>	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
<p>評価に対する コ メ ン ト</p>	<p>各種イベントへの参加を増やし、図書館サービス提供の機会を増やしたい。また、子ども向けだけでなく、大人のための行事も企画し、利用者層の拡大を図りたい。</p>

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○人材育成に向けた学びの機会や質を保障する教育予算の拡充	
事業等	小・中学校管理事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p style="text-align: center;">【小学校管理事業・中学校管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧稲梓中学校校舎解体工事 86,080千円(一部令和6年度に繰越) ・小学校トイレ改修工事(下田小学校) 4,367千円 ※トイレ洋式化率66.8%(161基/241基) ・稲梓小学校法面修繕 1,287千円 ・大賀茂小学校屋上防水修繕 1,287千円 ・大賀茂小学校遊具修繕(すべり台) 1,298千円 ・浜崎小学校音楽室空調機修繕 990千円 ・その他小学校施設修繕件数86件 合計12,700千円 ・その他中学校施設修繕件数20件 合計 2,608千円 ・スクールバス(2台)安全装置購入 352千円 				
検 証	<p>中学校統合に伴い、廃校となった旧稲梓中学校の校舎及び外構部分を解体した。資材の供給不足により一部令和6年度に繰り越した。</p> <p>静岡県市町村振興協会の助成を受け小学校トイレ5組の洋式化改修工事を実施した。また、下田中学校の洋式化率は100%となっている。</p> <p>老朽化により不具合の生じている遊具や学校施設に対して、修繕工事を実施することにより施設や機器等の更新をした。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>環境整備を必要としている小学校施設について、計画的な整備を進め、安全安心で良好な学校環境を確保する。</p> <p>また、下田市立小学校在り方検討会議を踏まえて、小学校施設の教育環境整備計画の見直しを検討する。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>小中学校からの優先する修繕要望等を尊重しながら十分な協議を重ねて、児童生徒の安全安心を確保するため、教育施設の環境整備を計画的に推進していきたい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○ICT、ネット環境に関する基盤整備	
事業等	GIGAスクール構想の推進・小・中学校教育振興事業・賀茂地域校務事務共同化協議会	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【賀茂地域校務支援事務共同化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賀茂地域校務支援事務共同化事業負担金 1,655千円 <p>【小学校教育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教職員用パソコンリース(108台) 3,576千円 ・小学校教育用パソコンリース(182台) 9,214千円 <p>【中学校教育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教職員用パソコン再リース(62台) 261千円 <p>【GIGAスクール構想の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校パソコンネットワーク保守業務委託 3,274千円 ・小学校GIGAスクールサポーター配置促進業務 3,274千円 ・中学校パソコンネットワーク保守業務委託 3,972千円 ・中学校GIGAスクールサポーター配置促進業務 1,872千円 				
検証	<p>賀茂1市5町で構成する賀茂地域校務支援事務共同化協議会において、令和7年度より稼働する次期校務支援システムを鈴木教育システム社のものと決定し、令和6年度中に各市町のシステム構築作業及び操作研修を行い令和7年度4月より共用を開始するための準備を進めた。</p> <p>令和2年度に整備した1人1台端末のさらなる活用や教育の情報化支援強化のため、GIGAスクールサポーターを配置した。また、パソコンネットワーク保守業務により、インターネットを使用した校務系PCや授業等の安定的な通信環境の整備に取り組んだ。</p>				
今後の課題 方向性	<p>オンライン学習システムの導入や全国学力調査のオンライン化を見据え、負荷に耐えうるネットワーク環境の整備を適宜検討する。教職員全体のITスキルの底上げやICT教育を推進するため、ICT支援員の活用を検討する。</p> <p>電子黒板及びタブレット端末等のICT機器については、耐用年数と生徒児童数減少を考慮しながら、適切な更新計画に基づきICT機器の有効活用を図る。</p>				
教育委員会 評価	<table border="0"> <tr> <td>S 確実な成果を出している</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	<input checked="" type="checkbox"/> A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	<input checked="" type="checkbox"/> A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コメント	<p>ICT教育環境整備については、利活用や応用に発展していく過程において、デジタル機器の活用のメリット・デメリットについても検討し、児童生徒の学習効果が高まるようなサポート体制・ICT機器の充実を図りたい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティーネットの構築	
事業等	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置・関係機関との連携	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【「チーム学校」の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SC（スクールカウンセラー）及びSSW（スクールソーシャルワーカー）の活用 <p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賀茂児童相談所、福祉事務所、市民保健課等との連携 ・要保護児童対策協議会及び母子連絡会での情報共有 ・下田警察署との連携 		
検証	<p>県費による配置だが、現在市内全校にSC及びSSWが配置（中学校区等）されている。教育委員会としてSSWと定期的な連絡会やSC・SSWと交えたケース会議の開催など、学校のチーム力向上を図った。生徒数が多い、下田中学校については、拠点校として勤務回数を増やすようにした。</p> <p>令和5年度も家庭の問題を起因とする児童相談所の案件が発生し、児童相談所と頻りに連絡を取り合った。学校と教委、児相の連携が今後も非常に重要となる。また、学校だけでは解決できない家庭的な背景を起因とする不登校や生徒指導案件等が増加しており、関係機関との連携体制の強化は必須となっている。賀茂児童相談所以外にも福祉事務所と連携し、積極的なケース会議の開催をした。SSWには、各小中学校の入学説明会等、保護者が多数集まる機会に参加してもらい、虐待等から子どもを守るための情報を共有し、未然に児童生徒の生命や安全を守るよう努めた。子どもの貧困や発達に課題をもつ児童生徒による問題行動や不登校、学校生活への不適応が問題になっていることから、市民保健課及び福祉事務所と情報共有に努め、早期からの適切な就学支援を進めることで、一人ひとりの子どもの成長を支えてきた。要保護児童対策協議会では、教育委員会担当者や学校・園の代表が情報交換をし、子どもや家庭の実態把握と効果的な対応に取り組んだ。</p>		
今後の課題 方向性	<p>学校だけでは解決が難しい事案が増えていることから、外部機関と連携しながら対応を進めるとともに、SCやSSW等を活用して「チーム学校」として子どもを守る体制を強化する。また、ヤングケアラー等今日的な課題についても関係機関等と連携しながら対応を進める。</p>		
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している B やや成果が低い	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A 一定の成果を出している</div> C 成果が低い	
評価に対する コメント	<p>学校教育を取り巻く諸問題を解決していくには、各関係機関との連携は必要不可欠である。開かれた学校づくりを進め、チームとして教育活動に取り組む体制づくりを推進していきたい。</p>		

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティーネットの構築	
事業等	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【新型コロナウイルス感染症5類移行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な感染症対策の励行 ・感染状況把握の体制整備と学校・園との連携 ・感染症対策資料（感染症対策フロー、学級閉鎖の状況、臨時休業の対応）配付 ・消耗品費(感染症対策分)1,735千円(小学校1,509千円・中学校226千円) 				
検 証	<p>【感染症対策の徹底と学びを止めない対応】</p> <p>新型コロナウイルス感染症5類移行後も教育委員会より学校・園へ感染対策の情報等を速やかに連絡・指示するとともに、各学校では地域の感染状況を把握するよう努めた。</p> <p>令和5年度 新型コロナウイルス感染症による 臨時休業…なし 学年閉鎖…小1 学級閉鎖…小1学級</p>				
今後の課題 方 向 性	<p>今後も新型コロナウイルス感染症に限らず、インフルエンザ等の感染症対策を各学校で講じて、充実した教育活動を推進する。</p>				
教育委員会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">S 確実な成果を出している</td> <td style="padding: 2px;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">B やや成果が低い</td> <td style="padding: 2px;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コ メ ン ト	<p>これまで以上に、学校・園の職員が一丸となって感染症対策に取り組み、子どもたちが安全安心に過ごすことができるように体制を構築するとともに、環境整備に努めたい。</p>				

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	
事業等	青少年海の家管理運営事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【青少年海の家】 施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="3">利用人員</th> <th rowspan="2">使用料収入</th> </tr> <tr> <th>市内</th> <th>市外</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年海の家</td> <td>109人</td> <td>1,079人</td> <td>1,188人</td> <td>6,360円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【管理経費等】 ・管理委託 120千円、消防設備点検委託 99千円</p>				施設名	利用人員			使用料収入	市内	市外	計	青少年海の家	109人	1,079人	1,188人	6,360円
	施設名	利用人員				使用料収入											
市内		市外	計														
青少年海の家	109人	1,079人	1,188人	6,360円													
検証	<p>青少年海の家は、施設の耐震性を考慮し、平成24年4月から宿泊制限を実施している。</p> <p>令和5年度は、12件 1,188人が使用した。市外からの教育旅行は9件となり、令和4年度の8件から1件増となった。</p> <p>また、(特非) 静岡県伝統建築技術協会に委託し、記録保存調査を実施した。今後、調査結果を踏まえて施設のあり方・活用方法について継続して検討していく。</p>																
今後の課題 方向性	活用方法の検討以外に、敷地の境界が確定していないため、地権者対応が必要とされる。																
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している		A 一定の成果を出している														
	B やや成果が低い		C 成果が低い														
評価に対する コメント	青少年海の家は、施設の老朽化が進む中、施設自体を今後どのように利活用していくのか、地元区の意見や専門的な意見も踏まえながら市としての方針を検討する。																

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	
事業等	下田市民文化会館管理運営事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【貸館事業】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">施設別</th> </tr> <tr> <th>施設</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール</td> <td>155</td> <td>23,905</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>165</td> <td>11,616</td> </tr> <tr> <td>大会議室</td> <td>278</td> <td>11,893</td> </tr> <tr> <td>小会議室(1・2・3)</td> <td>520</td> <td>4,514</td> </tr> <tr> <td>リハーサル室</td> <td>277</td> <td>3,968</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>659</td> <td>6,479</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,054</td> <td>62,375</td> </tr> </tbody> </table> <p>※改修工事のため、小ホールは令和6年1月1日～令和6年3月31日まで、大ホールは令和5年12月19日～令和6年2月29日まで使用禁止。</p> <p>【文化事業】 指定管理者による文化事業は、コンサートや映画等21事業を開催し、6,201人の入場者となった。</p> <p>【改修工事】 市民文化会館改修工事は132,397千円で照明設備改修工事（大ホール舞台主幹調光盤・ピンスポット、小ホール主幹調光盤・調光操作卓）、大ホール搬入扉改修工事、小ホール空調設備改修工事を実施した。 なお、小ホール空調設備改修工事は、社会情勢等の影響による電線不足が生じたことで、工期内の資材の納入が困難になったため、32,659千円の内4,619千円を翌年度に繰越した。 令和4年度からの繰越事業となる駐車場改修工事は17,857千円で実施した。</p>	施設別			施設	件数	利用者数	大ホール	155	23,905	小ホール	165	11,616	大会議室	278	11,893	小会議室(1・2・3)	520	4,514	リハーサル室	277	3,968	その他	659	6,479	計	2,054	62,375
	施設別																											
施設	件数	利用者数																										
大ホール	155	23,905																										
小ホール	165	11,616																										
大会議室	278	11,893																										
小会議室(1・2・3)	520	4,514																										
リハーサル室	277	3,968																										
その他	659	6,479																										
計	2,054	62,375																										
検証	<p>改修工事による使用禁止期間の影響もあったが、指定管理者が実施する多彩な自主事業によって、市民に親しまれている。</p> <p>また、ロビーに設置されたワーキングスペースも、新たな利用形態として定着しつつある。</p> <p>令和4年度から続く計画的な改修計画については、一部繰越はあるものの、順調に進捗している。</p>																											
今後の課題方向性	<p>令和6年度までの大規模改修を計画に沿って実施する。</p> <p>指定管理者と連携し、文化事業を充実させ、市の文化芸術振興を図る。</p>																											
教育委員会評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>																											
評価に対するコメント	<p>改修計画に沿って、計画的な改修ができるよう予算確保に努め、利用者の安全を確保し、魅力ある施設づくりを努めていきたい。</p> <p>また、引き続き指定管理者と利用者増加に向けた取組を進めていく。</p>																											

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	
事業等	公民館管理運営事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【公民館利用状況】			
	公民館名	令和5年度		
		件数	使用者数	使用料収入
	中央公民館	1,819	19,193	550,990
	稲生沢公民館	382	4,455	233,020
	朝日公民館	492	11,011	50,610
計	2,693	34,659	834,620	
	【管理経費等】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館消防設備修繕(繰越明許) 1,078千円 ・委託料(維持管理・その他) 2,398千円 ・光熱水費 2,736千円 ・修繕料 2,384千円(中央公民館非常照明、ブラインド修繕等) 			
検証	<p>各公民館の生涯学習、コミュニティ活動、各種会議等の利用者は、34,659人であった。令和5年度においては、令和4年度からの繰越事業となる中央公民館消防設備修繕を1,078千円で実施した。</p> <p>朝日公民館と稲生沢公民館については、廃止の方針であるが、廃止後の利用方法や公共空間の確保の観点から、令和5年度も存続することとした。</p>			
今後の課題 方向性	公民館統廃合について、地元区との協議を進め、基本方針に沿って統廃合を進めていく。また、存続する中央公民館のあり方について検討する。			
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している		
	B やや成果が低い	C 成果が低い		
評価に対する コメント	すでに公民館を廃止した地区との平等性を保つよう、地元区との協議を進め、継続して統廃合を推進する。			

令和6年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	
事業等	図書館管理運営事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【未来の下田図書館プロジェクト(ブックストリート及びワークショップ)】 道路空間活用社会実験「大横町通りに図書館がやってくる！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日目：令和5年9月23日(土) 参加者200人 アンケート54人、トークショー16人、読み聞かせ40人、ブックメイク20人、茶会31人、貸出3人5冊 ・ 2日目：令和5年9月24日(日) 参加者300人 アンケート54人、トークショー16人、読み聞かせ40人、ブックメイク20人、茶会31人、貸出3人5冊 <p>生涯学習施設整備基本構想策定業務委託 800千円 図書館をはじめとする生涯学習施設の現状調査</p> <p>【まちじゅう図書館事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5館認定。(内1館は12月に閉館)
検証	<p>図書館のあり方として、中核的な拠点と小さな拠点の整備が推奨され、中核的な拠点は、建設候補地の比較・検討により伊豆急下田駅周辺または市民文化会館敷地への立替が望ましいとなった。ただし、多くの公共施設整備の課題等を抱えていることから、仮設図書館の案や、現図書館の一時的な安全性を確保(簡易的な耐震補強工事)することなどが報告された。</p> <p>まちじゅう図書館をコンセプトに、大横町通りに小さな拠点として、テーマに応じた書籍を配置してブックストリートを展開した。ワークショップも開催し、小さな図書館拠点の課題や可能性を検証した。</p> <p>下田まちじゅう図書館については、図書館主導で各店舗に依頼し、協力を受けて令和5年度中に初めて5館が認定を受けたが、内1館が閉館となった。</p>
今後の課題 方向性	<p>市の公共施設のあり方に関する計画策定に伴い、図書館単体ではなく、生涯学習施設としてのあり方や市民サービスなどの考え方を整理したい。</p> <p>引き続き、中核的な拠点及び小さな拠点の課題、可能性について検討していく。まちじゅう図書館については、今後、アンケート、現状調査等を実施し、まちじゅう図書館の普及推進、効果的な仕組・体制作りなどについて検討していく。</p>
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	<p>利用者と職員の安全性を確保するとともに、貴重資料の保存ができるよう、少しでも早く新図書館の整備に取り組みたい。また、関係する計画に基づき全庁的な検討をするとともに、各計画との整合性を図りつつ、持続可能な施設のあり方について協議を進めたい。</p>

6 有識者委員会

下田市教育委員会の点検・評価に対する学識経験者等による知見の活用については、令和6年11月8日に下田市教育委員会の点検評価に関する有識者委員会を開催しました。

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	原 和 秀	学校関係者(元学校長)
副 委 員 長	猪 ノ 原 克 巳	学校関係者(元学校長)
委 員	佐 野 晃 一	学識経験者(公認会計士)
委 員	進 士 葉 子	学識経験者(民生委員)

7 有識者委員会の意見

下田市教育委員会の令和5年度実績事業については、令和3年3月に策定された第二次下田市教育大綱の6つの取組に基づき、教育委員会が内部評価を行った40事業に対して点検評価を実施しました。

評価対象の40事業中、S「確実な成果を出している」と評価された事業が6事業、A「一定の成果を出している」と評価された事業が30事業、B「やや成果が低い」と評価された事業が4事業、C「成果が低い」と評価された事業が0事業でした。

有識者委員会における点検評価に際しては、教育委員会から提出された自己点検・評価シート、令和5年度主要な施策の成果等の資料を基に、事務局からの説明、教育委員からの補足説明を受け、質疑を行いました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症5類への移行に伴い、コロナ以前に実施していた事業に加え、グローバルCITYプロジェクト事業をはじめ、一部ではありますが新たな事業にも取り組んでいるように思います。しかしながら物価高騰等の影響もあり、限られた財源の中で取組を進めていくには依然として厳しい状況です。その中で相応の成果を確認することができ、おおむね適正に実施できたものと評価します。

教育委員会の内部評価でもS評価とされた体験プログラム(グローバルCITYプロジェクト)事業は、下田の豊かな自然、歴史、文化を感じながら体験することは、下田を好きになる取組として高く評価します。新たな取組となるコミュニティ・スクールの導入に伴う下田中学校での学校運営協議会の活動も、想定を超える成果が得られていると評価します。来年度からの小学校導入にも期待しております。市民文化会館の改修工事に伴い下田中学校体育館で開催された二十歳の集いについても評価が高かったものの、次年度以降の市民文化会館での開催に対し、下田中学校体育館での開催を評価する意見がありました。

一方、B評価とされた図書館管理運営事業については、まちじゅう図書館事業や体験型ブック、文学シンポジウム、ブックストリートなど、多彩な事業は展開しているものの、図書館整備の進展が確認できないため、期待も込めてやや成果は低いと評価しました。公民館及び青少年海の家も同様、財政的な課題はあると思いますが、ハード整備の計画的な推進を期待します。

今後も点検評価を通じ、課題等に真摯に向き合い、学校、地域、市民の声を反映した事業を積極的に展開するとともに、下田市教育大綱に基づき、より効果的な教育行政の推進と教育環境の更なる充実を目指していただくことを願います。

下田市教育大綱に定める6つの取組に対する質疑応答の要旨は、次のとおりです。

【取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組】

○体験プログラム事業	
有識者委員	10年前ぐらいからの継続事業として定着しており良い事業である。
○青少年健全育成事業、社会体育活動推進事業	
有識者委員	親子漁船釣り教室の応募状況はどうか。親子磯遊び教室より親子漁船釣り教室の人数を増やしたい。漁船をもっと増やせないのか。充実出来れば下田を好きになるという点ではとても良い活動。是非今後も続けてもらい企画を拡大して欲しい。
教育委員会	親子漁船釣り教室は募集を開始して2日で定員となり人気が高い事業である。他の地域でも漁船体験はあるが釣りまで出来るのは少ないため好評である。しかしながら青年部の人数も減り逆に参加者を減らせないかとの要望を受けている。できる限り事業は継続していきたい。
○成人活動推進事業、公民館活動推進事業	
有識者委員	昨年度「新たな講座の実施を検討していく」という方向性を記載しているが取組を見ると新たな講座という記載はされていない。
教育委員会	竹の伐採体験など、コロナ前のように開催することができている。「親子和菓子作り教室」はとても人気のある事業となっている。葵学園は令和5年度で閉講となったが寿大学は継続している。
○芸術文化振興事業	
特になし	
○市史編さん事業、芸術文化振興事業	
有識者委員	「道の駅」に市史編さん室があるが移転の話は進んでいるのか。
教育委員会	現在も検討を続けているが移転先が見つからない。新庁舎への市史編さん室のスペースは見送られている。市史編さん事業も2年遅れるとのことで令和14年度終了予定となっている。
○英語力向上推進プロジェクト事業・英語検定受験推進事業・ALT（外国語指導助手）配置	
特になし	

【取組2 未来について思考する取組】

○未来の下田創造プロジェクト	
有識者委員	小学校の在り方について意見交換を行ったとのことだが具体的な内容は。
教育委員会	会議の経緯として令和5年度までに20回実施されている。19回までは統合が決まっていた下田中学校が議題の中心であり、総合的な学習の在り方を検討してきた。現在は幼小中高の先生方はじめ民間等も含めた方々により、これからの小学校で出来る新たな取組は何か、誰もがワクワクする小学校の在り方についてが議題の中心となっている。
	最終的な目標は、子どもたちが35歳になった時に下田を好きでいてくれて、何か下田のために行動したくなるというもの。会議の根底には参加された先生方に地域との交流、小学校同士との交流を増やしていくような意識づけをしていきたいという思いがある。
有識者委員	一番大事なことは各先生方が学校に戻ったあと、実現可能なものにしていくことだと考える。そのプロセスとしてもうひとつ、教育委員会側で対応が必要なのかもしれない。先生方へ投げたままではなく、少しずつでも実現できるようにしてほしい。
教育委員会	最終的には何かひとつでも実現させることを考えている。参加者にこのような経緯を全て伝えるのは難しいが、何かひとつ繋げていけるように検討する。

○青少年活動推進事業	
有識者委員	二十歳の集いは、市民文化会館の改修工事に伴い下田中学校での開催となっているが大変好評であった。今後も下田中学校で開催した方が良いのでは。
教育委員会	下田中学校の利用については、あくまでも学校行事を優先するものと考えている。定期的に運動部は県大会前なので本来は部活動の利用がある。令和4・5年度は特別に許可をいただいた。
有識者委員	やはり思い入れのある母校での開催であり、保護者は体育館の2階から観覧できたことも良かったとの話を聞いている。
教育委員会	中学校で実施するメリットとして卒業式のような雰囲気が生まれ、式そのものが乱れにくい。空いている席が多い市民文化会館とは違い、座席指定に落ち着く効果もあると思う。市民文化会館だと席がまとまらないため、騒がしくなる傾向がある。
有識者委員	個人的には下田中学校での開催の方が良いと思う。また、それほど下田市では騒ぐ成人はいないように感じているが。
教育委員会	年によるがニュースに流れるような他市に比べるとおとなしいと感じている。
○地域人材活用・総合的な学習の時間	
有識者委員	コミュニティ・スクールにおける浴衣の着付け体験に参加したがとても好評であった。但し、授業時間では生徒の写真撮影の時間が短かったので、もう少し時間を取れるようにしてほしい。
教育委員会	中学校に伝える。

【取組3 居場所づくりに向けた取組】

○公立保育所・認定こども園・民間保育所事業	
有識者委員	送迎バスの安全対策及びICTシステム導入とあるが、ICTとは具体的にどのようなものか。
教育委員会	アプリでは、園への欠席の連絡、送迎バスの乗降確認、園に着いた確認など、園児の通園状況が保護者側でも把握出来るようになっている。園の先生による確認は勿論行うが、園の先生と保護者とのダブルチェックでより安全が強化された。施設側でのメリットとして、欠席連絡に対する電話対応が激減し、事務の効率化につながっている。また若い保護者の方だと、紙の連絡帳を書くことには抵抗があるが、アプリだと操作に慣れているため、子どもの家庭での様子を細やかに連絡してくれるようになった。
有識者委員	保護者も確認出来るとのことだが、施設側でも確実に確認しなければならない。訪園した際に感じたことだが、園長先生含めて先生方が非常に忙しそうであった。事務職員を配置した方が良いのではないのか。
教育委員会	現在は教育委員会職員の栄養士が各施設の事務補助をしている。
○放課後児童対策事業	
有識者委員	朝日地区放課後児童クラブが使用している朝日公民館は移転の話を進めているのか。そもそも何が良くないのか。
教育委員会	良くない点はいくつかある。まず、施設が子ども用に整備されていない。全室にエアコンがない。グラウンドがないため外遊びができず、子どもにストレスが溜まる点などがある。
有識者委員	どうして他の放課後児童クラブのように、朝日小学校に開設しなかったのか。

教育委員会	朝日小学校は出入り口や教室の区分けが難しく、使用できる空き教室もなかったため、学校側の負担増につながると考えていたが、学校側と協議を重ね、使用できる教室の候補と動線を区切ることを具体的に提案した結果、朝日小学校での開設に了解が得られた。朝日子供太鼓が使用していた生活科室を利用することで体育館側からの出入りも可能となり、今後エアコン整備などが進められれば、朝日小学校での放課後児童クラブを開設する。
有識者委員	放課後児童クラブでは、支援学級に通う子どもの受け入れ態勢はどうなっているのか。
教育委員会	受け入れ自体は可能だが、実際の利用者はいない。支援学級に通う子どもは月間の「放課後等デイサービス事業」を利用している。
有識者委員	放課後児童クラブも利用可能ということは周知されているのか。
教育委員会	周知はしている。募集の際の申込書に配慮が必要な子どもへの項目等の記入欄がある。
有識者委員	引き続き周知は続けてほしい。
○地域子育て支援センター運営事業、ファミリーサポートセンター事業、子ども・子育て支援事業 特になし	
○子ども・子育て会議 特になし	
○児童生徒適応指導事業・特別支援教育体制推進事業	
有識者委員	通級教室には何人通っているのか。
教育委員会	稲生沢小学校に20人、下田小学校に16人、下田中学校に10人となる。
有識者委員	小学校で言語障害の通級教室に通っていた児童が中学校へ進学しても言語障害の通級教室の受入先がないことが問題である。とても大事なことなので中学校の言語障害の通級教室を開設した方が良い。
有識者委員	良い点として生徒指導研修会が一番進んでいるのは下田市である。市の政策とは異なるかもしれないが、下田市が主導して賀茂地域を引っ張って行ってほしい。
教育委員会	賀茂地域内の3人の指導主事が協力して取り組んでいる。
○児童・生徒援護事業 特になし	
○不登校等対策連絡協議会・いじめ防止への対応・生徒指導研修会・人権教育	
有識者委員	前年度の点検評価委員会の際に、不登校児対策連絡協議会の規模が大き過ぎて弊害があるため、個別の内容に絞った方が良いのではないかと意見したが。
教育委員会	現在は全体会と地域ごとの個別の形になっている。
○学校公開・学校評価 特になし	
○青少年健全育成事業	
有識者委員	地域学校協働活動推進員はどのような方なのか。
教育委員会	学校と地域の橋渡し役となる方であり、学校運営協議会委員を兼務している。各校3名までとして委嘱している。例えば家庭科の授業で着付けを教えたいとなった際に、着付けを指導できる地域の方を紹介して頂くなどの世話をしてくださる方となる。
有識者委員	公用車による青色防犯パトロールの講習会受講者数は増えているのか。
教育委員会	職員の異動に伴い新たに配属された職員や新規採用職員が受講している。パトロールについては、祭事の際などには必ず実施している。
有識者委員	青色防犯パトロールの実施者数を増やし、実施する回数も増やした方が良い。

○通学路安全対策事業	
有識者委員	通学路安全対策事業の評価はSでもよいかと思うが、以前までは改善まで至らなかったが、白浜小学校入口付近のカラー舗装など、結果が出ていると思う。
教育委員会	カラー舗装などの対策はできたが、こどもの移動経路安全推進会議を開催できなかったため、評価はAとしている。こどもの移動経路安全推進会議で決定された安全対策については、予算が優先される面もあると聞いている。
○児童・生徒通学費補助事業・中学生自転車安全対策	
特になし	
○地域と連携した防災・防犯教育	
特になし	

【取組4 資質・能力を育成する取組】

○市指定研究校への支援・研修主任研修の開催・校内研修への支援	
有識者委員	下田中学校の県指定研究「誰一人取り残さない授業づくり、学級づくり」に期待している。
教育委員会	実際には不登校の子どもはいるが、一本の糸は繋がっている状態と考えている。誰一人取り残さないための取組を行っていききたい。
○教育資金利子補給事業・奨学奨励費交付事業	
特になし	
○授業づくり支援・初任者研修会の開催	
有識者委員	下田市内で初任者は何人いるのか。
教育委員会	初任者は3人。初任者や2年目の先生も精神的に病むことも多いと思うが、初任者の3人も元気に勤務している。

【取組5 健やかな心身を育成する取組】

○小・中学生対外派遣事業補助金・部活動指導員配置事業	
有識者委員	新聞記事にもあったように賀茂地域での部活動地域移行はかなり難しいと見えるが。
教育委員会	例えば下田中学校のサーフィン部では2人の指導員を置いており、学校からも大変助かっていると聞いている。一方で指導員からは単独指導はやはり難しいとのこと。技術的な面だけなら指導できるが、生徒指導の面では学校の先生に対応してほしいとのこと。本来の意味での地域移行ならば全て指導員に任せたいが、難しいのが現状である。
	国も部活動の地域移行は難しいと分かっている。部活動の地域移行から地域連携へと考え方を変えてきている。
有識者委員	生徒指導となる保護者への対応などが、先生にとっては負担なのではないか。
教育委員会	生徒指導を任せることは難しいが、サーフィン部顧問の先生の時間外は年間約80時間減っている。先生の働き方改革だけではいけないが、ひとつの成果である。
有識者委員	サーフィン部は上手くいっているが、他の部活動でも上手いくだろうか。サーフィン部の特色として毎日海での活動はない。他の毎日行う部活動となると、どうだろうか。
教育委員会	そもそも指導員は誰でもよい訳ではない。適切な人材を探すのが難しい。
○学校給食管理運営事業	
有識者委員	給食費の未収金の扱いについてはどうなっているのか。
教育委員会	未収金に関しては、催告書などにより徴収のお願いをしている。但し、実際にはなかなか

有識者委員	か支払っていただけないのが現状である。
教育委員会 有識者委員	学校で給食費の会計を扱っている他市町では、未収金があると賄材料費に影響がでるため問題になるが、下田市では大丈夫なのか。
教育委員会 有識者委員	下田市は公会計化に伴い、賄材料費は歳出予算として計上されている。
教育委員会 有識者委員	施設の設備不良により学校給食が提供できない日が3日ありとなっているが、今年度も何日かあったのか。
教育委員会 有識者委員	今年度も現時点で、施設の電気設備の不良により1日給食が提供できない日があった。広島の給食業者のような突発的な事件により給食が提供できないこともある。下田市では各主食の納入業者が1社で大丈夫か。
教育委員会	各主食の納入業者が、いつまで続けられるのか不安である。請け負える納入業者があれば前向きに検討していきたい。またリスク軽減のためにも、給食センター内での炊飯設備等の改修計画を進めていきたい。
有識者委員	是非その件は進めていただきたい。
○保健体育総務事務、社会体育活動推進事業 特になし	
○下田市民スポーツセンター管理運営事業・吉佐美運動公園管理運営事業 特になし	
○社会体育活動推進事業	
有識者委員	ボッチャ大会の参加者数が66人とあるが、これは多いのか。
教育委員会	大会は下田小学校体育館で開催したが、会場全体が人でいっぱいになる規模。会場のキャパシティを考えると参加者数は適当であった。また、ボッチャ教室については社会福祉協議会が各小中学校を回っているため、かなり普及が進んでいる。次のステップとして、地域活性化という面からも、市外からの参加者を募って大きな大会にしていきたい。
有識者委員	第52回下田・河津間駅伝競走大会において中学校のエントリーはどうだったのか。
教育委員会	下田中学校男女各1チームと松崎中学校が男子1チームのエントリー。コロナ禍を期に参加校が減少したため、事務局主導で賀茂郡内の中学生選抜チームをエントリーしていた。今年度は松崎中学校が男女で3チーム参加する予定と聞いている。
○道徳教育の充実 特になし	
○学校司書の配置・新刊図書の購入、学校図書館蔵書管理システム導入	
有識者委員	令和4年度はコロナの補助金を活用して多くの図書を購入したと思うが、各学校の図書館は充実してきたのか。その成果は出ているのか。把握する方法はあるのか。
教育委員会	学校図書館管理システムを、小中学校全校に導入し、各学校の図書の増減が確認できるようになった。小学校は学校図書館の図書標準を満たすことができた。中学校は図書標準は満たさないものの充実してきている。
有識者委員	子どもが読んでいるなら評価(S)で良いと思うが、実際のところはどうか。
教育委員会	体感にはなるが、下田中学校では生徒が1人で借りに来ている光景をよく見かける。やはり新しい図書が入ると子どもは一斉に借りに行く。また、学校司書が頑張ってくれており、子どもに1人1冊おすすめ図書のプレゼントなど、子どもたちに読んでもらうための色々な工夫を凝らしている。
有識者委員	細かいデータを求めているわけではないので、そういった光景が見られるのであれば良いと思う。学校司書を3人にして、より充実出来ると良い。

○図書館管理運営事業	
有識者委員	図書館管理運営事業の貸出において、一定の成果を上げているといえるのか。河津の町立図書館と比べてどうなのか。
教育委員会	河津の町立図書館と比べてしまうと図書の貸出数は良くない。図書館の老朽化、アクセスや駐車場の不便さがあげられる。下田市の図書館は小学生から高校生までの利用率が12%と非常に低く、河津を利用しているとの声も聞こえる。図書館の整備が急務だと考えているが、市が優先すべき大型事業を抱えているため、事業化が進まない。移動図書館や図書館イベントといったソフト面で対応しているのが現状である。

【取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組】

○小・中学校管理事業	
有識者委員	前年度も要望したが、体育館への空調設備の設置はどうにかならないのか。夏場に災害があった場合に避難所として使用することもあるため、整備を進めた方が良い。
教育委員会	市議会からも空調設備の設置については質問を受けている。教育委員会としては、図書室などの特別教室から順次進めている。体育館は避難所としての側面もあるため、防災安全かとも連携して進めていきたい。
○GIGAスクール構想の推進・小・中学校教育振興事業・賀茂地域校務事務共同化協議会	
有識者委員	GIGAスクール構想は国の方針のため、教育委員会としては進めていくこととなるが大丈夫なのか。学校に訪問すると、黒板にもノートにも文字を書かず、タブレットのみ使用する光景を見掛ける。タブレットの使用方法について、学校で要検討してもらいたい。
教育委員会	タブレットを1人1台与えて終わりではない。使用方法によっては、子どもが文字を書けなくなる、筆圧が下がる、デザイン感覚が落ちるなどと言ったマイナス的な影響が懸念されている。タブレットで勉強して学力が定着しているのか、先生や保護者からも心配している声は聞く。一方、車座座談会では保護者の方から、下田市はタブレット使用に遅れないか、という焦りの声も頂いている。教育委員会と学校としては、ある程度コントロールしながら、使用方法について検討していきたい。
有識者委員	タブレットの性能は良いのか。
教育委員会	iPadを導入しているが性能は良く故障も少ない。
有識者委員	児童生徒が壊したときの対応はどうしているのか。
教育委員会	各校児童生徒数が減少しているため、予備分となっているタブレットで対応している。万が一、紛失した場合には購入してもらうことになっているが、導入してからそのような事例はない。
○スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置・関係機関との連携	
特になし	
○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	
特になし	
○青少年海の家管理運営事業	
有識者委員	青少年海を家の使用料収入は6,360円となっているが正しいのか。
教育委員会	1回の使用料単価が安く減免もあるため、このような使用料となる。
有識者委員	記録保存調査の結果はどうだったのか。
教育委員会	調査の結果、国や県指定の文化財には難しいとのこと。但し、登録有形文化財には認定される可能性はあるとの報告書となっている。

有識者委員	廃校となった学校を道の駅などに改修して活用している成功事例を参考にして、上手に改修できれば利用価値があるのではないか。
教育委員会	改修や活用の検討を進める上で敷地内の民地の問題を解決する必要がある。相続登記されていない土地もあるため、数百人規模の地権者となっている筆もある。司法書士にも相談しながら数年係る見込みだが対応している。
○下田市民文化会館管理運営事業 特になし	
○公民館管理運営事業	
有識者委員	稲生沢公民館と朝日公民館は、今後も存続するのか。
教育委員会	稲生沢公民館については、新庁舎の開庁に併せて公民館としては廃止する予定でいる。
教育委員会	廃止後の施設の活用については庁内会議において検討している。 朝日公民館については、放課後児童クラブが移転したあとに公民館としては廃止する予定でいる。建物自体は使用できるため、活用方針を検討する。他の課による活用や、民間利用の可能性はあるのか、調査・検討を引き続き行う。
○図書館管理運営事業	
有識者委員	図書館の移転を進めていただきたい。拠点をしっかり整備する必要がある。
教育委員会	図書館の移転は最重要事項だと考えている。
有識者委員	市の状況を見ると図書館整備が難しいのは承知している。現状の中で利用率を高める努力は続けてほしい。

8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱

平成21年7月27日教育委員会告示第9号

(設置)

第1条 下田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検・評価を行うことで、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務・事業の管理及び執行状況についての透明性の確保と市民への説明責任を果たすため、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務・事業の点検評価に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関する識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 3 委員会の会議は、原則として公開とする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、公示の日から施行する。
- 2 第3条第3項本文の規定にかかわらず、初回の委員の任期は、平成23年3月31日までとする。

令和6年度(令和5年度実績事業)
下田市教育委員会自己点検・評価報告書

発行日 令和6年12月
発行 下田市教育委員会
〒415-0024 静岡県下田市四丁目6番16号
TEL 0558-23-3929 FAX 0558-23-5176
E-Mail s-kyoui@city.shimoda.lg.jp